

関西電力株式会社
高浜発電所第2号機
使用前検査成績書

要領書番号 : 原規規収第 1610072 号 99
成績書管理番号 : 1 - 4 5

令和 5 年 6 月

原子力規制委員会

使用前検査成績書

成績書管理番号：1-45

- 1 発電所名 関西電力株式会社高浜発電所第2号機
- 2 検査申請 検査申請一覧表のとおり
- 3 検査期日 自 令和5年6月30日
至 令和5年6月30日
- 4 検査場所 使用前検査記録のとおり
- 5 検査実施者 検査結果一覧表のとおり
- 6 検査結果 検査結果一覧表のとおり
- 7 添付資料 使用前検査記録

検査申請一覧表

| | |
|--------------------|--|
| 検査申請書番号 (申請年月日) | 関原発第321号(平成28年10月7日) 関原発第435号(平成30年3月20日) 関原発第47号(平成30年4月20日) 関原発第203号(平成30年7月4日) 関原発第260号(平成30年8月20日) 関原発第416号(平成30年12月5日) 関原発第505号(平成31年2月1日) 関原発第513号(平成31年2月6日) 関原発第 4号(平成31年4月4日) 関原発第 69号(2019年5月16日) 関原発第116号(2019年6月24日) 関原発第205号(2019年8月23日) 関原発第511号(2020年1月31日) 関原発第543号(2020年2月26日) 関原発第618号(2020年3月24日) 関原発第 23号(2020年4月7日) 関原発第 23号(2021年4月30日) 関原発第293号(2021年8月2日) 関原発第562号(2022年2月28日) 関原発第585号(2022年3月15日) 関原発第137号(2022年6月10日) 関原発第209号(2022年7月1日) 関原発第580号(2022年12月27日) 関原発第 80号(2023年5月26日) 関原発第166号(2023年6月21日) |
|--------------------|--|

上記以降の変更を検査申請書の変更申請により確認し表中に追記する。

検査結果一覧表

成績書管理番号：1-45

| 検査年月日 | 検査結果 | 原子力検査官 | 検査立会責任者 | 特記事項 |
|--------------------|------|--------------|--|------|
| 令和 5 年 6 月 30 日 | 良 | 平井 隆 増本 豊 | 発電用原子炉 主任技術者 [Redacted] ボイラー・タービン 主任技術者 [Redacted] 電気主任技術者 [Redacted] | なし |

w

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録
共通事項

成績書管理番号：1-45

検査年月日：令和5年6月30日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

| 確認事項 | 確認方法 | 確認結果 | 備考 |
|-------------------------------------|------|------|----|
| 本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。 | 記録確認 | ◎良・一 | |
| 検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。 | 記録確認 | ◎良・一 | |
| 工事計画の認可番号の記載が適切であること。 | 記録確認 | ◎良・一 | |

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録

基本設計方針に係る検査

成績書管理番号：1-45

検査年月日：令和5年 6 月 30 日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査前確認事項

| 確認事項 | 結果 | 備考 |
|---|------|----|
| 申請者の品質記録及びエビデンスが準備されていること。 | ◎良・一 | |
| 基準適合性を確保するための設計結果と適合性確認状況一覧表が作成され、申請者の適合性確認検査において漏れなく確認されていること。 | ◎良・一 | |

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録

確認結果一覧表

成績書管理番号：1-45

検査年月日：令和5年6月30日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

| 施設名 | 機器等の名称 (設備区分) | 確認した基本設計方針 | 記録確認した適合性確認 検査要領書、成績書等 | 現場確認した 設備等 | 判定基準 | 確認 結果 |
|----------|------------------|--|---------------------------|------------------------------------|---|----------|
| 計測制御系統施設 | ・可搬型計測器 | 確認した基本設計方針 1. 計測制御系統施設 1. 2 計測装置等 1. 2. 4 電源喪失時の計測 重大事故等時に直流電源が喪失し計測に必要な計器電源が喪失した場合、特に重要なパラメータとして、重大事故等の対処に必要なパラメータを計測する計器については、温度、圧力、水位及び流量に係るものについて、乾電池を電源とした可搬型計測器により計測できる設計とし、可搬型計測器は個数80(「2号機に保管」(個数40)、「1号機設備、1・2・3・4号機共用、1号機に保管」(予備40))を設ける設計とする。 | T2-3-0710 | [REDACTED] に設置されている可搬型計測器及び保管状態 | 保安活動が基本設計方針に従って行われ、設備及び機器が基本設計方針に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。 | 良 |

9

| | | | | | | |
|----------|--|--|--|--|--|--|
| 計測制御系統施設 | | 確認対象 ・可搬型計測器 外観検査、状態確認検査、特性検査（計測範囲確認検査）機能・性能検査（系統構成確認検査） | | | | |
|----------|--|--|--|--|--|--|

8/8

| 施設名 | 機器等の名称 (設備区分) | 確認した基本設計方針 | 記録確認した適合性確認 検査要領書、成績書等 | 現場確認した 設備等 | 判定基準 | 確認 結果 |
|----------|--|--|---------------------------|---------------|--|----------|
| 計測制御系統施設 | <ul style="list-style-type: none"> 中央制御室機能及び中央制御室外原子炉停止機能 | <p>確認した基本設計方針</p> <p>(1) 中央制御室機能 SA監視操作盤は、盤面機器及び盤面表示(操作器、指示計)をシステムごとにグループ化した配列等を行うことで、重大事故等時において運転員の誤操作を防止するとともに容易に操作ができるものとする。</p> <p>確認対象</p> <ul style="list-style-type: none"> SA監視操作盤 状態確認検査 | T2-3-0735 | | <p>保安活動が基本設計方針に従って行われ、設備及び機器が基本設計方針に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。</p> | 良 |

関西電力株式会社
高浜発電所第2号機
使用前検査成績書

要領書番号 : 原規規収第1610072号99
成績書管理番号 : 1-46

令和5年6月
原子力規制委員会

使用前検査成績書

成績書管理番号：1-46

- 1 発電所名 関西電力株式会社高浜発電所第2号機
- 2 検査申請 検査申請一覧表のとおり
- 3 検査期日 自 令和5年6月28日
至 令和5年6月28日
- 4 検査場所 使用前検査記録のとおり
- 5 検査実施者 検査結果一覧表のとおり
- 6 検査結果 検査結果一覧表のとおり
- 7 添付資料 使用前検査記録

検査申請一覧表

| | |
|--------------------|--|
| 検査申請書番号 (申請年月日) | 関原発第321号(平成28年10月7日) 関原発第435号(平成30年3月20日) 関原発第47号(平成30年4月20日) 関原発第203号(平成30年7月4日) 関原発第260号(平成30年8月20日) 関原発第416号(平成30年12月5日) 関原発第505号(平成31年2月1日) 関原発第513号(平成31年2月6日) 関原発第 4号(平成31年4月4日) 関原発第 69号(2019年5月16日) 関原発第116号(2019年6月24日) 関原発第205号(2019年8月23日) 関原発第511号(2020年1月31日) 関原発第543号(2020年2月26日) 関原発第618号(2020年3月24日) 関原発第 23号(2020年4月7日) 関原発第 23号(2021年4月30日) 関原発第293号(2021年8月2日) 関原発第562号(2022年2月28日) 関原発第585号(2022年3月15日) 関原発第137号(2022年6月10日) 関原発第209号(2022年7月1日) 関原発第580号(2022年12月27日) 関原発第 80号(2023年5月26日) 関原発第166号(2023年6月21日) |
|--------------------|--|

上記以降の変更を検査申請書の変更申請により確認し表中に追記する。

検査結果一覧表

成績書管理番号：1-46

| 検査年月日 | 検査結果 | 原子力検査官 | 検査立会責任者 | 特記事項 |
|--------------------|------|--------------|--|------|
| 令和 5 年 6 月 28 日 | 良 | 平井 隆 増本 豊 | 発電用原子炉 主任技術者 [Redacted] 電気主任技術者 [Redacted] ボイラ-タービン主任技術者 [Redacted] | なし |

u

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録
共通事項

成績書管理番号：1-46

検査年月日：令和5年6月28日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

| 確認事項 | 確認方法 | 確認結果 | 備考 |
|-------------------------------------|------|------|----|
| 本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。 | 記録確認 | ⓪良・— | |
| 検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。 | 記録確認 | ⓪良・— | |
| 工事計画の認可番号の記載が適切であること。 | 記録確認 | ⓪良・— | |

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録

基本設計方針に係る検査

成績書管理番号：1-46

検査年月日：令和5年6月28日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査前確認事項

| 確認事項 | 結果 | 備考 |
|---|------|----|
| 申請者の品質記録及びエビデンスが準備されていること。 | ◎良・— | |
| 基準適合性を確保するための設計結果と適合性確認状況一覧表が作成され、申請者の適合性確認検査において漏れなく確認されていること。 | ◎良・— | |

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録

確認結果一覧表

成績書管理番号：1-46

検査年月日：令和5年 6月 28日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

| 施設名 | 機器等の名称 (設備区分) | 確認した基本設計方針 | 記録確認した適合性確認 検査要領書、成績書等 | 現場確認した 設備等 | 判定基準 | 確認 結果 |
|-------------|------------------|---|---------------------------|---------------|--|----------|
| 放射性廃棄物の廃棄施設 | ・外部火災防護 施設 | <p>確認した基本設計方針</p> <p>3. 固体廃棄物貯蔵庫及び外部遮蔽壁保管庫の森林火災からの防護</p> <p>固体廃棄物貯蔵庫及び外部遮蔽壁保管庫は防火帯の外側にあることから、その周辺に防火帯と同じ幅の防火エリアを設ける設計とする。また、固体廃棄物貯蔵庫については、飛び火対策として散水設備を設けることにより防護する設計とする。</p> <p>確認対象：</p> <ul style="list-style-type: none"> 防火エリア（固体廃棄物貯蔵庫周辺） <p>据付検査、外観検査</p> | T2-3-1706 | | 保安活動が基本設計方針に従って行われ、設備及び機器が基本設計方針に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合すること。 | 良 |

6/E

関西電力株式会社
高浜発電所第2号機
使用前検査成績書

要領書番号：原規規収第1610072号99
成績書管理番号：1-47

令和5年7月
原子力規制委員会

使用前検査成績書

成績書管理番号：1-47

- 1 発電所名 関西電力株式会社高浜発電所第2号機
- 2 検査申請 検査申請一覧表のとおり
- 3 検査期日 自 令和5年7月4日
至 令和5年7月5日
- 4 検査場所 使用前検査記録のとおり
- 5 検査実施者 検査結果一覧表のとおり
- 6 検査結果 検査結果一覧表のとおり
- 7 添付資料 使用前検査記録

検査申請一覧表

| | |
|--------------------|---|
| 検査申請書番号 (申請年月日) | 関原発第321号(平成28年10月7日) 関原発第435号(平成30年3月20日) 関原発第47号(平成30年4月20日) 関原発第203号(平成30年7月4日) 関原発第260号(平成30年8月20日) 関原発第416号(平成30年12月5日) 関原発第505号(平成31年2月1日) 関原発第513号(平成31年2月6日) 関原発第4号(平成31年4月4日) 関原発第69号(2019年5月16日) 関原発第116号(2019年6月24日) 関原発第205号(2019年8月23日) 関原発第511号(2020年1月31日) 関原発第543号(2020年2月26日) 関原発第618号(2020年3月24日) 関原発第 23号(2020年4月7日) 関原発第 23号(2021年4月30日) 関原発第293号(2021年8月2日) 関原発第562号(2022年2月28日) 関原発第585号(2022年3月15日) 関原発第137号(2022年6月10日) 関原発第209号(2022年7月1日) 関原発第580号(2022年12月27日) 関原発第80号(2023年5月26日) 関原発第166号(2023年6月21日) |
|--------------------|---|

上記以降の変更を検査申請書の変更申請により確認し表中に追記する。

検査結果一覧表

成績書管理番号：1-47

| 検査年月日 | 検査結果 | 原子力検査官 | 検査立会責任者 | 特記事項 |
|--------------|------|---------------|--|------|
| 令和5年 7月4日 | 良 | 種市 隆人 須貝 実 | 茶電用原子炉 主任技術者 [Redacted] 電気主任技術者 [Redacted] ホットラック主任技術者 [Redacted] | なし |

ω

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録
共通事項

成績書管理番号：1-47

検査年月日：令和 5 年 7 月 4 日

検査場所：関西電力株式会社 高浜発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

| 確認事項 | 確認方法 | 確認結果 | 備考 |
|-------------------------------------|------|------|----|
| 本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。 | 記録確認 | ◎良・— | |
| 検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。 | 記録確認 | ◎良・— | |
| 工事計画の認可番号の記載が適切であること。 | 記録確認 | ◎良・— | |

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録

基本設計方針に係る検査

成績書管理番号：1-47

検査年月日：令和 5 年 7 月 4 日

検査場所：関西電力株式会社 高浜発電所

検査前確認事項

| 確認事項 | 結果 | 備考 |
|---|------|----|
| 申請者の品質記録及びエビデンスが準備されていること。 | ◎良・— | |
| 基準適合性を確保するための設計結果と適合性確認状況一覧表が作成され、申請者の適合性確認検査において漏れなく確認されていること。 | ◎良・— | |

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録 確認結果一覧表

成績書管理番号：1-47

検査年月日：令和 5 年 7 月 4 日

検査場所：関西電力株式会社 高浜発電所

6/E

| 施設名 | 機器等の名称 (設備区分) | 確認した基本設計方針 | 記録確認した適合性確認 検査要領書、成績書等 | 現場確認した設備等 | 判定基準 | 確認 結果 |
|---------|------------------------|--|--|-------------------|---|----------|
| 放射線管理施設 | 放射線管理用計測装置、可搬型照明 (S A) | <p>確認した基本設計方針：</p> <p>1. 放射線管理施設</p> <p>1. 1 放射線管理用計測装置</p> <p>重大事故等が発生した場合に、原子炉格納容器内の線量当量率、使用済燃料ピット周辺線量率、発電所及びその周辺（発電所の周辺海域を含む。）において発電用原子炉施設から放出される放射性物質の濃度及び放射線量を監視及び測定し、並びにその結果を記録するために、エリアモニタリング設備及び移動式周辺モニタリング設備を設置及び保管する。</p> <p>2. 換気装置、生体遮蔽装置</p> <p>2. 1 中央制御室、緊急時対策所の居住性を確保するための防護措置</p> <p>中央制御室と身体サーベイ及び作業服の着替え等を行うための区画の照明は、計測制御系統施設の可搬型照明 (S A) (1号機設備、1・2号機共用、1号機に保管 (以下同じ。)) を使用する。</p> <p>確認対象：</p> <p>可搬式モニタリングポスト、電離箱サーベイメータ、NaI シンチレーションサーベイメータ、GM 汚染サーベイメータ、ZnS シンチレーションサーベイメータ、β線サーベイメータの据付、外観及び可搬型照明 (SA) の据付</p> | <p>T 2 - 3 - 1 0 1 3</p> <p>T 2 - 3 - 1 1 1 9</p> <p>T 2 - 3 - 1 1 2 0</p> | 可搬型照明 (S A) の据付状態 | 保安活動が基本設計方針に従って行われ、設備及び機器が基本設計方針に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。 | 良 |

関西電力株式会社
高浜発電所第2号機
使用前検査成績書

要領書番号 : 原規規収第 1610072 号 99

成績書管理番号 : 1 - 4 8

令和 5 年 9 月

原子力規制委員会

使用前検査成績書

成績書管理番号：1-48

- 1 発電所名 関西電力株式会社高浜発電所第2号機
- 2 検査申請 検査申請一覧表のとおり
- 3 検査期日 自令和5年7月10日
至令和5年9月6日
- 4 検査場所 使用前検査記録のとおり
- 5 検査実施者 検査結果一覧表のとおり
- 6 検査結果 検査結果一覧表のとおり
- 7 添付資料 使用前検査記録

検査申請一覧表

| | |
|--------------------|--|
| 検査申請書番号 (申請年月日) | 関原発第321号 (平成28年10月7日) 関原発第435号 (平成30年3月20日) 関原発第47号 (平成30年4月20日) 関原発第203号 (平成30年7月4日) 関原発第260号 (平成30年8月20日) 関原発第416号 (平成30年12月5日) 関原発第505号 (平成31年2月1日) 関原発第513号 (平成31年2月6日) 関原発第 4号 (平成31年4月4日) 関原発第 69号 (2019年5月16日) 関原発第116号 (2019年6月24日) 関原発第205号 (2019年8月23日) 関原発第511号 (2020年1月31日) 関原発第543号 (2020年2月26日) 関原発第618号 (2020年3月24日) 関原発第 23号 (2020年4月7日) 関原発第 23号 (2021年4月30日) 関原発第293号 (2021年8月2日) 関原発第562号 (2022年2月28日) 関原発第585号 (2022年3月15日) 関原発第137号 (2022年6月10日) 関原発第209号 (2022年7月1日) 関原発第580号 (2022年12月27日) 関原発第 80号 (2023年5月26日) 関原発第166号 (2023年6月21日) 関原発第256号 (2023年7月26日) |
|--------------------|--|

上記以降の変更を検査申請書の変更申請により確認し表中に追記する。

検査結果一覧表

成績書管理番号：1-48

| 検査年月日 | 検査結果 | 原子力検査官 | 検査立会責任者 | 特記事項 |
|--------------------|------|--------------|--|------|
| 令和 5 年 7 月 10 日 | 良 | 平井 隆 増本 豊 | 発電用原子炉 主任技術者 [Redacted] ボイラ-タービン主任技術者 [Redacted] 電気主任技術者 [Redacted] | なし |

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録 共通事項

成績書管理番号：1-48

検査年月日：令和 5年 7月 10日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

| 確認事項 | 確認方法 | 確認結果 | 備考 |
|-------------------------------------|------|------|----|
| 本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。 | 記録確認 | ◎良・— | |
| 検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。 | 記録確認 | ◎良・— | |
| 工事計画の認可番号の記載が適切であること。 | 記録確認 | ◎良・— | |

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録

基本設計方針に係る検査

成績書管理番号：1-48

検査年月日：令和5年7月10日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査前確認事項

| 確認事項 | 結果 | 備考 |
|---|-----|----|
| 申請者の品質記録及びエビデンスが準備されていること。 | ◎・— | |
| 基準適合性を確保するための設計結果と適合性確認状況一覧表が作成され、申請者の適合性確認検査において漏れなく確認されていること。 | ◎・— | |

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録

確認結果一覧表

成績書管理番号：1-48

検査年月日：令和5年7月10日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

| 施設名 | 機器等の名称 (設備区分) | 確認した基本設計方針 | 記録確認した適合性確認 検査要領書、成績書等 | 現場確認した 設備等 | 判定基準 | 確認 結果 |
|---------|----------------------|--|--|---------------|--|----------|
| 原子炉格納施設 | ・運転員が中央制御室にとどまるための設備 | <p>確認した基本設計方針</p> <p>2. 圧力低減設備その他の安全設備</p> <p>2.7 運転員が中央制御室にとどまるための設備</p> <p>・炉心の著しい損傷が発生した場合において、運転員が中央制御室にとどまるために、原子炉格納容器から漏えいした空気中の放射性物質の濃度を低減するための設備として重大事故等対処設備(放射性物質の濃度低減)を設ける。</p> <p>放射性物質の濃度低減として、アニュラス循環排気ファンは、設計基準対象施設としてのアニュラスの負圧達成能力及び負圧維持能力を使用することにより、原子炉格納容器からアニュラスへ漏えいする放射性物質等を含む空気を吸入し、アニュラス循環排気フィルタユニットを介して放射性物質を低減さ</p> | <p>T2-1-0134</p> <p>T2-1-0925</p> <p>T2-3-0017</p> | アニュラス循環排気ファン | <p>保安活動が基本設計方針に従って行われ、設備及び機器が基本設計方針に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。</p> | 良 |

| | | | | | | |
|---------|--|---|--|--|--|--|
| 原子炉格納施設 | | <p>せたのち排出することで放射性物質の濃度を低減する設計とする。</p> <p>アニュラス循環排気ファンは、ディーゼル発電機に加えて、代替電源設備である空冷式非常用発電装置から給電できる設計とする。また、A系アニュラス循環排気系の弁はディーゼル発電機に加えて、代替電源設備である空冷式非常用発電装置により電磁弁を開放することで制御用空気設備の窒素ポンベ（アニュラス排気弁等作動用）により開操作できる設計とする。</p> <p>格納容器空調装置を構成する格納容器排気筒は、設計基準事故対処設備の一部を流路として使用することから、流路に係る機能について重大事故等対処設備としての設計を行う。</p> <p>確認対象</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アニュラス循環排気ファン アニュラス循環排気フィルターユニット 格納容器排気筒 外観検査、据付検査 機能・性能検査（系統運転検査、通水検査、運転性能検査） | | | | |
|---------|--|---|--|--|--|--|

検査結果一覧表

成績書管理番号：1-48

| 検査年月日 | 検査結果 | 原子力検査官 | 検査立会責任者 | 特記事項 |
|-------------------|------|---------------|---|------|
| 令和 5 年 9 月 6 日 | 良 | 平井 隆 今頼 正博 | ボイラ- タ-セツ 主任技術者 [Redacted] 発電用原子炉主任技術者 [Redacted] 電気主任技術者 [Redacted] | なし |

8

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録 共通事項

成績書管理番号：1-48

検査年月日：令和 5 年 9 月 6 日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

| 確認事項 | 確認方法 | 確認結果 | 備考 |
|-------------------------------------|------|------|----|
| 本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。 | 記録確認 | ⊙・— | |
| 検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。 | 記録確認 | ⊙・— | |
| 工事計画の認可番号の記載が適切であること。 | 記録確認 | ⊙・— | |

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録

基本設計方針に係る検査

成績書管理番号：1-48

検査年月日：令和5年 9月 6日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査前確認事項

| 確認事項 | 結果 | 備考 |
|---|-----|----|
| 申請者の品質記録及びエビデンスが準備されていること。 | ◎・— | |
| 基準適合性を確保するための設計結果と適合性確認状況一覧表が作成され、申請者の適合性確認検査において漏れなく確認されていること。 | ◎・— | |

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録

確認結果一覧表

成績書管理番号：1-48

検査年月日：令和5年 9月 6日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

| 施設名 | 機器等の名称 (設備区分) | 確認した基本設計方針 | 記録確認した適合性確認 検査要領書、成績書等 | 現場確認した 設備等 | 判定基準 | 確認 結果 |
|---------|------------------|--|---------------------------|---------------|---|----------|
| 原子炉格納施設 | ・原子炉格納容器本体等 | <p>1. 原子炉格納容器</p> <p>1. 1 原子炉格納容器本体等</p> <p>連通管を含むスプレインズルから原子炉下部キャビティへの流入経路は、原子炉格納容器内に様々な経路を設けることで多重性を持った設計とする。原子炉下部キャビティは、連通管より下部のドリルホール及び小扉を閉止することで熔融炉心の冷却のために蓄水機能を持つ設計とする。</p> <p>対象</p> <p>・流入経路</p> | T2-4-0362 | 流入経路 | 保安活動が基本設計方針に従って行われ、設備及び機器が基本設計方針に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。 | 良 |

11/E

関西電力株式会社
高浜発電所第2号機

基本設計方針に係る
使用前検査成績書

施設名 : その他発電用原子炉の附属施設

系統名 : 火災防護設備

要領書番号 : 原規規収第1610072号1-49

令和5年7月

原子力規制委員会

使用前検査成績書

- 1 発電所名 関西電力株式会社高浜発電所第2号機
- 2 検査の種類 基本設計方針に係る使用前検査
- 3 検査申請 使用前検査申請番号
関原発第321号(平成28年10月7日)
関原発第435号(平成30年3月20日)
関原発第47号(平成30年4月20日)
関原発第203号(平成30年7月4日)
関原発第260号(平成30年8月20日)
関原発第416号(平成30年12月5日)
関原発第505号(平成31年2月1日)
関原発第513号(平成31年2月6日)
関原発第4号(平成31年4月4日)
関原発第69号(令和元年5月16日)
関原発第116号(令和元年6月24日)
以降、次頁参照
- 4 検査期日 自 令和元年7月24日
至 令和5年7月27日
- 5 検査場所 関西電力株式会社高浜発電所
福井県大飯郡高浜町田ノ浦
- 6 検査範囲 高浜発電所第2号機
発電用原子炉施設
その他発電用原子炉の附属施設
火災防護設備
基本設計方針
- 7 検査結果 検査結果一覧表のとおり

3 検査申請

使用前検査申請番号

| | | |
|----------|-----------|--------|
| 関原発第205号 | (2019年 | 8月23日) |
| 関原発第511号 | (2020年 | 1月31日) |
| 関原発第543号 | (2020年 | 2月26日) |
| 関原発第618号 | (2020年 | 3月24日) |
| 関原発第 23号 | (2020年 | 4月 7日) |
| 関原発第 23号 | (2021年 | 4月30日) |
| 関原発第293号 | (2021年 | 8月 2日) |
| 関原発第562号 | (2022年 | 2月28日) |
| 関原発第585号 | (2022年 | 3月15日) |
| 関原発第137号 | (2022年 | 6月10日) |
| 関原発第209号 | (2022年 | 7月 1日) |
| 関原発第580号 | (2022年12月 | 27日) |
| 関原発第 80号 | (2023年 | 5月26日) |
| 関原発第166号 | (2023年 | 6月21日) |
| 関原発第256号 | (2023年 | 7月26日) |

検査結果一覧表

| 検査項目 | 検査結果 | 原子力施設検査官 | 検査立会責任者 |
|-------------|------|-------------|--------------|
| 基本設計方針に係る検査 | 良 | 令和元年 7月 24日 | 令和元年 7月 24日 |
| | | 高須 羊司 | 発電用原子炉 主任技術者 |
| | | 高橋 和宏 | |

8. 特記事項

なし

9 添付資料 使用前検査記録

- 1 検査前確認事項
- 2 確認結果一覧表

検査結果一覧表

| 検査項目 | 検査結果 | 原子力施設検査官 | 検査立会責任者 |
|-------------|------|--|---|
| 基本設計方針に係る検査 | | 令和5年7月 24、25、26、27日 | 令和5年7月 24、25、26、27日 |
| | | <p style="text-align: right;">#</p> <p>平井 隆 #</p> <p>種市 隆人</p> <p>守野 正登</p> <p>平川 圭司 #</p> | <p>発電用原子炉 主任技術者</p> <div style="background-color: black; width: 100px; height: 30px; margin: 5px 0;"></div> <p style="text-align: right;">#</p> <p>ボイラ・タービン 主任技術者</p> <div style="background-color: black; width: 100px; height: 30px; margin: 5px 0;"></div> <p>電気 主任技術者</p> <div style="background-color: black; width: 100px; height: 30px; margin: 5px 0;"></div> |

8. 特記事項

なし

9 添付資料 使用前検査記録

- 1 検査前確認事項
- 2 確認結果一覧表

高浜発電所第2号機 使用前検査記録

検査前確認事項

共通事項

使用前検査申請書の確認

| 確認事項 | 確認方法 | 検査年月日 | 結果 | 備考 |
|-------------------------------------|------|--|-------------|--|
| 本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。 | 記録確認 | 令和元年 7月24日 | 良 | 使用前検査成績書の「3 検査申請」に申請番号（変更申請番号を含む。）を記載する。 |
| | | 令和5年 7月 ^{24,25} / _{26,27} 日 | 良 | |
| | | 年 月 日 | | |
| 検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであることを確認する。 | 記録確認 | 令和元年 7月24日 | 良 | |
| | | 令和5年 7月 ^{24,25} / _{26,27} 日 | 良 | |
| | | 年 月 日 | | |
| 工事計画の認可番号の記載が適切であること。 | 記録確認 | 令和元年 7月24日 | 良 | |
| | | 令和5年 7月 ^{24,25} / _{26,27} 日 | 良 | |
| | | 年 月 日 | | |

高浜発電所第2号機 使用前検査記録 検査前確認事項

基本設計方針に係る検査

| 確認事項 | 検査年月日 | 結果 | 備考 |
|---|--|----|----|
| 申請者の品質記録及びエビデンスが準備されていること。 | 令和元 年 7月24日 | 良 | |
| | 令和5 年 7月 ^{24,25} _{26,27} 日 | 良 | |
| | 年 月 日 | | |
| 基準適合性を確保するための設計結果と適合性確認状況一覧表(様式-8)が作成され、申請者の適合性確認検査において漏れなく確認されていること。 | 令和元 年 7月24日 | 良 | |
| | 令和5 年 7月 ^{24,25} _{26,27} 日 | 良 | |
| | 年 月 日 | | |

高浜発電所第2号機 使用前検査記録 確認結果一覧表

検査年月日：令和元年 7月29日

| 施設名 | 機器等の名称 (設備区分) | 確認した基本設計方針 | 記録確認した適合性確認 検査要領書及び成績書等 | 現場確認した設備等 | 確認結果 |
|-------------------------|-------------------------------|--|--|---------------|------|
| 7 その他発電用原子炉の 附属施設 | 火災防護設備 1 火災防護設備の 基本設計方針 | <p>1. 火災防護設備の基本設計方針 (1) 火災発生防止 b. 不燃性材料又は難燃性材料の使用 火災防護上重要な機器等及び重大事故等対処施設は、不燃性材料又は難燃性材料を使用する設計とし、不燃性材料又は難燃性材料が使用できない場合は、不燃性材料又は難燃性材料と同等以上の性能を有するもの（以下「代替材料」という。）を使用する設計、若しくは、当該構築物、系統及び機器の機能を確保するために必要な代替材料の使用が技術上困難な場合は、当該構築物、系統及び機器における火災に起因して他の火災防護上重要な機器等及び重大事故等対処施設において火災が発生することを防止するための措置を講じる設計とする。</p> | <p>T2-3-1801(その1) T2-3-1801(その2)</p> | C, D内部スプレポンプ室 | 良 |

| 施設名 | 機器等の名称 (設備区分) | 確認した基本設計方針 | 記録確認した適合性確認 検査要領書及び成績書等 | 現場確認した設備等 | 確認結果 |
|-----|------------------|---|----------------------------|-----------|------|
| | | <p>火災防護上重要な機器等及び重大事故等 対処施設に使用するケーブルは、自己消火 性を確認するUL1581 (Fourth Edition) 1080. VW-1垂直燃焼試験並びに延焼性を確 認するIEEE Std 383-1974垂直トレイ燃焼 試験又はIEEE Std 1202-1991垂直トレイ 燃焼試験によって、自己消火性及び延焼性 を確認した難燃ケーブルを使用する設計 とするが、実証試験により延焼性などが確 認できない核計装用ケーブル、放射線監視 設備用ケーブル及び通信連絡設備の専用 ケーブルは、難燃ケーブルと同等以上の性 能を有する設計とするか、代替材料の使用 が技術上困難な場合は、当該ケーブルの火 災に起因して他の火災防護上重要な機器 等及び重大事故等対処施設において火災 が発生することを防止するための措置を 講じる設計とする。</p> <p>また、上記ケーブル以外に実証試験により 自己消火性は確認できるが延焼性が確認 できない非難燃ケーブルについては、以下 に示すように、(a) 難燃ケーブルを使用す る設計、並びに難燃ケーブルと同等以上の 難燃性能を確保するため、(b) 非難燃ケー ブル及びケーブルトレイを防火シート、結 束ベルト及びシート押さえ器具で覆い複 合体を形成する設計、又は (c) 電線管に 収納する設計とする。</p> | | | |

| 施設名 | 機器等の名称 (設備区分) | 確認した基本設計方針 | 記録確認した適合性確認 検査要領書及び成績書等 | 現場確認した設備等 | 確認結果 |
|-----|------------------|--|----------------------------|-----------|------|
| | | <p>(b) 複合体を形成する設計 複合体を構成する防火シートには、複合体の難燃性能を確保し形状を維持するため、不燃性、遮炎性、耐久性及び被覆性を確認する実証試験でそれらの性能を有することを確認し、またケーブル及びケーブルトレイに悪影響を及ぼさないため、非腐食性の実証試験でケーブル及びケーブルトレイに与える化学的影響に問題がないことを確認したシートを使用する設計とする。上記性能を有する防火シートを用いて形成する複合体は、イ. に示す複合体外部の火災を想定した場合に必要な設計を行った上で、ロ. に示す複合体内部の発火を想定した場合に必要な設計を加えることで、難燃ケーブルと同等以上の難燃性能を確保する設計とする。</p> <p>ハ. 複合体の仕様、構造及び寸法 以上の設計方針により設計した複合体を構成する防火シート、結束ベルト及びシート押さえ器具の仕様、並びに複合体の構造及び寸法を以下に示す。</p> | | | |

| 施設名 | 機器等の名称 (設備区分) | 確認した基本設計方針 | 記録確認した適合性確認 検査要領書及び成績書等 | 現場確認した設備等 | 確認結果 |
|-----|------------------|--|----------------------------|-----------|------|
| | | <p>(イ) 防火シートの仕様 以下の i. ~vi. に示す試験で性能を確認した防火シートと同一仕様であり、同試験を満足する性能を有する防火シートを使用する。</p> <p>i. 不燃性 発熱性試験 ii. 遮炎性 (i) 遮炎・準遮炎性能試験、(ii) 過電流通電試験 iii. 耐久性 (i) 熱・放射線劣化 熱劣化試験、放射線照射試験 (ii) 耐寒性 耐寒性試験 (iii) 耐水性 耐水性試験 (iv) 耐薬品性 耐薬品性試験</p> <p>iv. 外力(地震)に対する被覆性 加振試験 v. 非腐食性 pH 試験 vi. 耐延焼性 (i) 複合体外部の火災を想定した試験、 (ii) 複合体内部の発火を想定した試験、 (iii) 複合体の頑健性(隙間模擬試験)の確認</p> | | | |

| 施設名 | 機器等の名称 (設備区分) | 確認した基本設計方針 | 記録確認した適合性確認 検査要領書及び成績書等 | 現場確認した設備等 | 確認結果 |
|-----|------------------|---|----------------------------|-----------|------|
| | | <p>(ロ) 結束ベルトの仕様 以下の i. 及び ii. に示す試験で性能を確認した結束ベルトと同一仕様であり、同試験を満足する性能を有する結束ベルトを使用する。</p> <p>i. 耐久性</p> <p>(i) 熱・放射線劣化 熱劣化試験、放射線照射試験</p> <p>(ii) 耐寒性 耐寒性試験</p> <p>(iii) 耐水性 耐水性試験</p> <p>(iv) 耐薬品性 耐薬品性試験</p> <p>ii. 外力(地震)に対する被覆性 加振試験</p> <p>(ハ) シート押さえ器具の仕様 以下の i. 及び ii. に示す試験で性能を確認したシート押さえ器具と同一仕様であり、同試験を満足する性能を有するシート押さえ器具を使用する。</p> <p>i. 外力(地震)に対する被覆性 加振試験</p> <p>ii. 耐延焼性 複合体内部の発火を想定した試験</p> | | | |


| 施設名 | 機器等の名称 (設備区分) | 確認した基本設計方針 | 記録確認した適合性確認 検査要領書及び成績書等 | 現場確認した設備等 | 確認結果 |
|-----|------------------|--|----------------------------|-----------|------|
| | | <p>(二) 複合体の構造及び寸法 複合体の構造及び寸法は、防火シート、結束ベルト及びシート押さえ器具の性能を(イ)～(ハ)に示す試験で確認する結果を基に、以下のi.～viii.のとおり設定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> i. 防火シート間重ね代 ii. 防火シートとケーブル間の隙間 iii. 結束ベルト間隔 iv. シート押さえ器具設置対象 v. シート押さえ器具の押さえ付け時寸法 vi. シート押さえ器具間隔 vii. 防火シートの巻き付け回数 viii. シート押さえ器具設置数 <p>確認対象：</p> <ul style="list-style-type: none"> 防火シートの仕様 結束ベルトの仕様 シート押さえ器具の仕様 複合体の構造及び寸法 | | | |

高浜発電所第2号機 使用前検査記録
確認結果一覧表

検査年月日：令和5年 7月27日


13


| 施設名 | 機器等の名称 (設備区分) | 確認した基本設計方針※1 | 記録確認した適合性確認 検査要領書及び成績書等 | 現場確認した設備等 | 確認結果 |
|----------------|-------------------------------|--|----------------------------|------------------------|------|
| その他発電用原子炉の附属施設 | 火災防護設備 1 火災防護設備の 基本設計方針 | 1. 火災防護設備の基本設計方針 (1) 火災発生防止 a. 火災の発生防止対策 潤滑油及び燃料油を内包する設備は、溶接構造、シール構造、オイルパン、ドレンリム、堰、油回収装置、液面の監視及び点検による潤滑油、燃料油の漏えいの早期検知によって漏えい防止、拡大防止及び防爆の対策を行う設計とし、潤滑油及び燃料油を内包する設備の火災により、発電用原子炉施設の安全機能及び重大事故等に対処する機能を損なわないよう、壁の設置又は離隔による配置上の考慮を行う設計とする。 確認対象： 充てん/高圧注入ポンプ(オイルパン) | T2-3-1023 | 充てん/高圧注入ポンプ (オイルパン) | 良 |

| 施設名 | 機器等の名称 (設備区分) | 確認した基本設計方針 | 記録確認した適合性確認 検査要領書及び成績書等 | 現場確認した設備等 | 確認結果 |
|-----|------------------|---|--|---|----------|
| | | <p>(2) 火災の感知及び消火</p> <p>a. 火災感知設備</p> <p>火災感知設備のうち火災感知器（「1号機設備、1・2号機共用、1号機に設置」、「3号機設備、1・2・3・4号機共用、3号機に設置」、「1号機設備、1・2・3・4号機共用、1号機に設置」（以下同じ。）」は、火災区域又は火災区画における放射線、取付面高さ、温度、湿度、空気流の環境条件、予想される火災の性質（急激な温度変化、煙の濃度の上昇、赤外線量の上昇）を考慮し、火災を早期に感知できるよう、固有の信号を発するアナログ式の煙感知器、アナログ式の熱感知器、アナログ式ではないが、炎が発する赤外線又は紫外線を感知するため、煙や熱が感知器に到達する時間遅れがなく、火災の早期感知に優位性がある炎感知器から異なる種類の火災感知器を組み合わせる設計を基本とする。アナログ式の煙感知器は蒸気等が充満する場所には設置せず、アナログ式の熱感知器は作動温度を周囲温度より高い温度で作動するものを選定することで、誤作動を防止する設計とする。アナログ式でない炎感知器の誤作動を防止するため、アナログ式でない炎感知器を屋内に設置する場合は、外光が当たらず、高温物体が近傍にない箇所に設置することとし、屋外に設置する場合は、視野角への影響を考慮した太陽光の影響を防ぐ遮光板の設置や防水型を採用する設計とする。なお、基本設計のとおり火災感知器を設置できない箇所は、環境条件を考慮し、アナログ式でない熱感知器、防爆型の熱感知器、防爆型の炎感知器を設置する設計とする。</p> | <p>T2-3-1301 (再検査)</p> <p>T2-3-1317 (再検査)</p> <p>T2-3-1806 (再検査)</p> | <p>確認した火災区画</p>  | <p>良</p> |

7/

| | | | | |
|--|-------------------------|--|--|--|
| | 確認対象： 煙感知器、熱感知器、炎感知器 | | | |
|--|-------------------------|--|--|--|

| 施設名 | 機器等の名称 (設備区分) | 確認した基本設計方針 | 記録確認した適合性確認 検査要領書及び成績書等 | 現場確認した設備等 | 確認結果 |
|-----|------------------|---|---|---|----------|
| 16 | | <p>b. 消火設備</p> <p>(a) 消火設備の消火剤の容量 消火設備の消火剤は、想定される火災の性質（急激な温度変化、煙の濃度の上昇、赤外線量の上昇）に応じた十分な容量を配備するために、スプリンクラー、全域ハロン消火設備、局所ハロン消火設備、二酸化炭素消火設備及び水噴霧消火設備については消防法施行規則に基づく消火剤を配備する設計とする。</p> <p>また、ケーブルトレイ消火設備の消火剤は、実証試験により消火性能を確認した試験の消火剤濃度以上となる容量以上を確保するよう設計する。エアロゾル消火設備の消火剤は、UL2775 (Fixed Condensed Aerosol Extinguishing System Units) で要求された消火剤濃度以上となる容量以上を確保する設計とする。</p> <p>確認対象： 全域ハロン消火設備、局所ハロン消火設備</p> | <p>T2-3-0203 (その1)</p> <p>T2-3-0105 (その1)</p> | <p>確認した火災区画</p>  | <p>良</p> |

| 施設名 | 機器等の名称 (設備区分) | 確認した基本設計方針 | 記録確認した適合性確認 検査要領書及び成績書等 | 現場確認した設備等 | 確認結果 |
|-----|------------------|--|--|--|----------|
| | | <p>(3) 火災の影響軽減 a. 火災の影響軽減対策 (a) 火災防護対象機器等の系統分離対策 ロ. 1時間耐火隔壁、火災感知設備及び自動消火設備 火災防護対象機器等は、想定される火災に対して1時間の耐火能力を有する隔壁の設置によって、互いに相違する系列間の系統分離を行う設計とする。 確認対象： 1時間耐火壁により互いに相違する系列間 が系統分離されていること</p> | <p>T2-3-1817 T2-3-1827 T2-3-1837</p> | <p>確認した火災区画</p>  | <p>良</p> |

17/E

関西電力株式会社
高浜発電所第2号機
使用前検査成績書

要領書番号 : 原規規収第1610072号99
成績書管理番号 : 1-50

令和5年7月

原子力規制委員会

使用前検査成績書

成績書管理番号：1-50

- 1 発電所名 関西電力株式会社高浜発電所第2号機
- 2 検査申請 検査申請一覧表のとおり
- 3 検査期日 自 令和5年7月7日
至 令和5年7月7日
- 4 検査場所 使用前検査記録のとおり
- 5 検査実施者 検査結果一覧表のとおり
- 6 検査結果 検査結果一覧表のとおり
- 7 添付資料 使用前検査記録

検査申請一覧表

| | |
|--------------------|---|
| 検査申請書番号 (申請年月日) | 関原発第321号(平成28年10月7日) 関原発第435号(平成30年3月20日) 関原発第47号(平成30年4月20日) 関原発第203号(平成30年7月4日) 関原発第260号(平成30年8月20日) 関原発第416号(平成30年12月5日) 関原発第505号(平成31年2月1日) 関原発第513号(平成31年2月6日) 関原発第4号(平成31年4月4日) 関原発第69号(2019年5月16日) 関原発第116号(2019年6月24日) 関原発第205号(2019年8月23日) 関原発第511号(2020年1月31日) 関原発第543号(2020年2月26日) 関原発第618号(2020年3月24日) 関原発第 23号(2020年4月7日) 関原発第 23号(2021年4月30日) 関原発第293号(2021年8月2日) 関原発第562号(2022年2月28日) 関原発第585号(2022年3月15日) 関原発第137号(2022年6月10日) 関原発第209号(2022年7月1日) 関原発第580号(2022年12月27日) 関原発第80号(2023年5月26日) 関原発第166号(2023年6月21日) |
|--------------------|---|

上記以降の変更を検査申請書の変更申請により確認し表中に追記する。

検査結果一覧表

成績書管理番号：1-50

| 検査年月日 | 検査結果 | 原子力検査官 | 検査立会責任者 | 特記事項 |
|--------------|------|---------------|--|------|
| 令和5年 7月7日 | 良 | 種市 隆人 須貝 実 | 発電用原子炉 主任技術者 [Redacted] ボイラー・タービン 主任技術者 [Redacted] 電気主任技術者 [Redacted] | なし |

ω

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録
共通事項

成績書管理番号：1-50

検査年月日：令和 5 年 7 月 7 日

検査場所：関西電力株式会社 高浜発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

| 確認事項 | 確認方法 | 確認結果 | 備考 |
|-------------------------------------|------|------|----|
| 本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。 | 記録確認 | ◎良・— | |
| 検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。 | 記録確認 | ◎良・— | |
| 工事計画の認可番号の記載が適切であること。 | 記録確認 | ◎良・— | |

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録

基本設計方針に係る検査

成績書管理番号：1-50

検査年月日：令和 5 年 7 月 7 日

検査場所：関西電力株式会社 高浜発電所

検査前確認事項

| 確認事項 | 結果 | 備考 |
|---|------|----|
| 申請者の品質記録及びエビデンスが準備されていること。 | ◎良・— | |
| 基準適合性を確保するための設計結果と適合性確認状況一覧表が作成され、申請者の適合性確認検査において漏れなく確認されていること。 | ◎良・— | |

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録 確認結果一覧表

成績書管理番号：1-50

検査年月日：令和 5 年 7 月 7 日

検査場所：関西電力株式会社 高浜発電所

9

| 施設名 | 機器等の名称 (設備区分) | 確認した基本設計方針 | 記録確認した適合性確認 検査要領書、成績書等 | 現場確認した設備等 | 判定基準 | 確認 結果 |
|----------------|------------------|---|---------------------------|-----------|---|----------|
| その他発電用原子炉の附属施設 | 浸水防護施設 | <p>確認した基本設計方針：</p> <p>1. 津波による損傷の防止</p> <p>1. 3 津波防護対策</p> <p>f. 津波影響軽減</p> <p>津波影響軽減施設として、発電所周辺を波源とした津波の波力を軽減させるため、取水口カーテンウォール（4号機設備、1・2・3・4号機共用、3号機に設置（以下同じ。））を設置する。</p> <p>確認対象：</p> <p>取水口カーテンウォール（4号機設備、1・2・3・4号機共用、3号機に設置）の据付及び外観</p> | T2-3-13.2.1 | | 保安活動が基本設計方針に従って行われ、設備及び機器が基本設計方針に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。 | 良 |

7/E

| 施設名 | 機器等の名称 (設備区分) | 確認した基本設計方針* | 記録確認した適合性確認 検査要領書、成績書等 | 現場確認した設備等 | 判定基準 | 確認 結果 |
|----------------|------------------|--|---------------------------|-----------|---|----------|
| その他発電用原子炉の附属施設 | 浸水防護施設 | <p>確認した基本設計方針：</p> <p>2. 発電用原子炉施設内における溢水等による損傷の防止</p> <p>2. 4 建屋内の防護すべき設備に関する溢水評価及び防護設計方針</p> <p>(4) その他の溢水影響に対する溢水評価及び防護設計方針</p> <p>その他の溢水のうち機器の誤作動や弁のグランド部、配管フランジ部からの漏えい事象等に対しては、漏えい検知システム又は運転員の状況確認により早期に検知し、漏えい箇所の特定及び漏えい箇所の隔離等により漏えいを止めることで防護すべき設備の要求される機能を損なうおそれのない設計とする。</p> <p>確認対象： 漏えい防止の手順の状態確認（運用）</p> | T2-3-1602 | | 保安活動が基本設計方針に従って行われ、設備及び機器が基本設計方針に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。 | 良 |

関西電力株式会社
高浜発電所第2号機
使用前検査成績書

要領書番号 : 原規規収第1610072号99
成績書管理番号 : 1-51

令和5年7月

原子力規制委員会

使用前検査成績書

成績書管理番号：1-51

- 1 発電所名 関西電力株式会社高浜発電所第2号機
- 2 検査申請 検査申請一覧表のとおり
- 3 検査期日 自 令和5年7月5日
至 令和5年7月5日
- 4 検査場所 使用前検査記録のとおり
- 5 検査実施者 検査結果一覧表のとおり
- 6 検査結果 検査結果一覧表のとおり
- 7 添付資料 使用前検査記録

検査申請一覧表

| 検査申請書番号 (申請年月日) | 関原発第321号(平成28年10月7日) 関原発第435号(平成30年3月20日) 関原発第47号(平成30年4月20日) 関原発第203号(平成30年7月4日) 関原発第260号(平成30年8月20日) 関原発第416号(平成30年12月5日) 関原発第505号(平成31年2月1日) 関原発第513号(平成31年2月6日) 関原発第4号(平成31年4月4日) 関原発第69号(2019年5月16日) 関原発第116号(2019年6月24日) 関原発第205号(2019年8月23日) 関原発第511号(2020年1月31日) 関原発第543号(2020年2月26日) 関原発第618号(2020年3月24日) 関原発第 23号(2020年4月7日) 関原発第 23号(2021年4月30日) 関原発第293号(2021年8月2日) 関原発第562号(2022年2月28日) 関原発第585号(2022年3月15日) 関原発第137号(2022年6月10日) 関原発第209号(2022年7月1日) 関原発第580号(2022年12月27日) 関原発第80号(2023年5月26日) 関原発第166号(2023年6月21日) |
|--------------------|---|
|--------------------|---|

上記以降の変更を検査申請書の変更申請により確認し表中に追記する。

検査結果一覧表

成績書管理番号：1-51

| 検査年月日 | 検査結果 | 原子力検査官 | 検査立会責任者 | 特記事項 |
|--------------|------|---------------|--|------|
| 令和5年 7月5日 | 良 | 種市 隆人 須貝 実 | 炭電用原子炉 主任技術者 [Redacted] 電気主任技術者 [Redacted] ボイラ-タービン主任技術者 [Redacted] | なし |

ω

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録
共通事項

成績書管理番号：1-51

検査年月日：令和 5 年 7 月 5 日

検査場所：関西電力株式会社 高浜発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

| 確認事項 | 確認方法 | 確認結果 | 備考 |
|-------------------------------------|------|------|----|
| 本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。 | 記録確認 | ◎良・— | |
| 検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。 | 記録確認 | ◎良・— | |
| 工事計画の認可番号の記載が適切であること。 | 記録確認 | ◎良・— | |

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録

基本設計方針に係る検査

成績書管理番号：1-51

検査年月日：令和 5 年 7 月 5 日

検査場所：関西電力株式会社 高浜発電所

検査前確認事項

| 確認事項 | 結果 | 備考 |
|---|------|----|
| 申請者の品質記録及びエビデンスが準備されていること。 | ◎良・— | |
| 基準適合性を確保するための設計結果と適合性確認状況一覧表が作成され、申請者の適合性確認検査において漏れなく確認されていること。 | ◎良・— | |

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録 確認結果一覧表

成績書管理番号：1-51

検査年月日：令和 5 年 7 月 5 日

検査場所：関西電力株式会社 高浜発電所

9

| 施設名 | 機器等の名称 (設備区分) | 確認した基本設計方針 | 記録確認した適合性確認 ・検査要領書、成績書等 | 現場確認した設備等 | 判定基準 | 確認 結果 |
|----------------|------------------|--|----------------------------|-----------|---|----------|
| その他発電用原子炉の附属施設 | 非常用電源設備 | <p>確認した基本設計方針：</p> <p>1. 非常用電源設備の電源系統</p> <p>1. 1 非常用電源系統</p> <p>加えて、重要安全施設への電力供給に係る電気盤及び当該電気盤に影響を与えるおそれのある電気盤のうち非常用ディーゼル発電機に接続される電気盤以外の電気盤(安全施設(重要安全施設を除く。)への電力供給に係るものに限る。)について、遮断器の遮断時間の適切な設定等により、高エネルギーのアーク放電によるこれらの電気盤の損壊の拡大を防止することができる設計とする。</p> <p>確認対象：</p> <p>メタルクラッド開閉装置(非常用)の機能・性能</p> | T2-3-0905 | 遮断器の据付状態 | 保安活動が基本設計方針に従って行われ、設備及び機器が基本設計方針に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。 | 良 |

7

| 施設名 | 機器等の名称 (設備区分) | 確認した基本設計方針* | 記録確認した適合性確認 検査要領書、成績書等 | 現場確認した設備等 | 判定基準 | 確認 結果 |
|----------------|------------------|---|---------------------------|-----------|---|----------|
| その他発電用原子炉の附属施設 | 保安電源設備 | <p>確認した基本設計方針：</p> <p>1. 保安電源設備</p> <p>1.1 発電所構内における電気系統の信頼性確保</p> <p>1.1.2 1相の電路の開放に対する検知及び電力の安定性回復</p> <p>送電線において3相のうちの1相の電路の開放が生じた場合、500kV送電線(1号機設備、1・2・3・4号機共用、1号機に設置(以下同じ。))は多重化した設計とし、1回線での電路の開放時は、安全施設への電力の供給が不安定にならない設計とする。<u>また、電力送電時、保護装置(1号機設備、1・2・3・4号機共用、1号機に設置(以下同じ。))により3相の電流不平衡監視にて常時自動検知できる設計とする。</u></p> <p>確認対象： 500kV送電線用しゃ断器の機能・性能</p> | T2-3-0910 | | 保安活動が基本設計方針に従って行われ、設備及び機器が基本設計方針に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。 | 良 |

※：「確認した基本設計方針」のうち、下線部について確認。

| 施設名 | 機器等の名称 (設備区分) | 確認した基本設計方針 | 記録確認した適合性確認 検査要領書、成績書等 | 現場確認した設備等 | 判定基準 | 確認 結果 |
|----------------|------------------|---|---|-----------|--|----------|
| その他発電用原子炉の附属施設 | 補機駆動用燃料 設備 | <p>確認した基本設計方針：</p> <p>1. 補機駆動用燃料設備</p> <p>重大事故等に対処するために使用する可搬型又は常設設備の動作に必要な駆動用燃料を貯蔵及び補給する燃料設備として燃料油貯油そう（「1号機設備、重大事故等時のみ1・2号機共用」、「重大事故等時のみ1・2号機共用」（以下同じ。））及びタンクローリー（1号機設備、1・2号機共用（以下同じ。））を設ける</p> <p>送水車燃料タンクへの燃料補給は、燃料油貯油そうよりタンクローリーを用いて補給できる設計とする。</p> <p>確認対象：</p> <p>燃料油貯油そう（1号機設備、重大事故等時のみ1・2号機共用）及びタンクローリー（1号機設備、1・2号機共用）の据付、外観及び機能・性能</p> | <p>T2-1-0501 (その6)</p> <p>T2-3-0501 (その4)</p> <p>T2-1-0558</p> <p>T2-3-0557</p> | / | <p>保安活動が基本設計方針に従って行われ、設備及び機器が基本設計方針に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。</p> | 良 |

6

| 施設名 | 機器等の名称 (設備区分) | 確認した基本設計方針 | 記録確認した適合性確認 検査要領書、成績書等 | 現場確認した設備等 | 判定基準 | 確認 結果 |
|----------------|------------------|--|---------------------------|-----------|---|----------|
| その他発電用原子炉の附属施設 | 敷地内土木構造物 | <p>確認した基本設計方針：</p> <p>1. 地震による周辺斜面の崩壊に対する基本設計方針</p> <p>地震による斜面の崩壊を防止するため、3号機及び4号機原子炉建屋並びに3号機及び4号機原子炉補助建屋背後斜面地中に、鋼管、H鋼及び中詰めモルタルで構成される抑止ぐいを3号機及び4号機原子炉建屋並びに3号機及び4号機原子炉補助建屋の平行方向に約1.5m～約2m間隔で設置する。</p> <p>確認対象： 抑止ぐいの据付及び外観</p> | T2-3-1322 | | 保安活動が基本設計方針に従って行われ、設備及び機器が基本設計方針に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。 | 良 |

10/E

| 施設名 | 機器等の名称 (設備区分) | 確認した基本設計方針 | 記録確認した適合性確認 検査要領書、成績書等 | 現場確認した設備等 | 判定基準 | 確認 結果 |
|----------------|------------------|---|-----------------------------------|-----------|--|----------|
| その他発電用原子炉の附属施設 | 緊急時対策所 | <p>確認した基本設計方針：</p> <p>1. 1 緊急時対策所の設置等</p> <p>(3) 緊急時対策所（緊急時対策所建屋内）は以下の措置又は設備を備えることにより緊急時対策所機能を確保する。</p> <p>b. 情報の把握</p> <p>情報収集設備として、事故状態等の必要な情報を把握するために必要なパラメータ等を収集し、緊急時対策所（緊急時対策所建屋内）で表示できるよう、安全パラメータ表示システム（SPDS）及び安全パラメータ伝送システムを制御建屋に設置し、SPDS表示装置を緊急時対策所（緊急時対策所建屋内）に設置する。また、緊急時対策所（緊急時対策所建屋内）へ重大事故等に対処するために必要なデータを伝送できるデータ伝送設備（発電所内）として、安全パラメータ表示システム（SPDS）（「1号機設備、1・2・3・4号機共用、1・3・4号機に設置」（以下同じ。））を制御建屋に一式設置し、SPDS表示装置（「1号機設備、1・2・3・4号機共用、1・3・4号機に設置」（以下同じ。））を緊急時対策所（緊急時対策所建屋内）に必要数量一式設置する。</p> <p>確認対象：</p> <p>安全パラメータ表示システム（SPDS）の据付及び外観</p> | <p>T2-1-0802</p> <p>T2-1-0804</p> | | <p>保安活動が基本設計方針に従って行われ、設備及び機器が基本設計方針に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。</p> | 良 |

関西電力株式会社
高浜発電所第2号機
使用前検査成績書

要領書番号：原規規収第1610072号99

成績書管理番号：1-52

令和5年7月

原子力規制委員会

使用前検査成績書

成績書管理番号：1-52

- 1 発電所名 関西電力株式会社高浜発電所第2号機
- 2 検査申請 検査申請一覧表のとおり
- 3 検査期日 自 令和5年7月3日
至 令和5年7月3日
- 4 検査場所 使用前検査記録のとおり
- 5 検査実施者 検査結果一覧表のとおり
- 6 検査結果 検査結果一覧表のとおり
- 7 添付資料 使用前検査記録

検査申請一覧表

| | |
|--------------------|--|
| 検査申請書番号 (申請年月日) | 関原発第321号 (平成28年10月7日) 関原発第435号 (平成30年3月20日) 関原発第47号 (平成30年4月20日) 関原発第203号 (平成30年7月4日) 関原発第260号 (平成30年8月20日) 関原発第416号 (平成30年12月5日) 関原発第505号 (平成31年2月1日) 関原発第513号 (平成31年2月6日) 関原発第4号 (平成31年4月4日) 関原発第69号 (2019年5月16日) 関原発第116号 (2019年6月24日) 関原発第205号 (2019年8月23日) 関原発第511号 (2020年1月31日) 関原発第543号 (2020年2月26日) 関原発第618号 (2020年3月24日) 関原発第 23号 (2020年4月7日) 関原発第 23号 (2021年4月30日) 関原発第293号 (2021年8月2日) 関原発第562号 (2022年2月28日) 関原発第585号 (2022年3月15日) 関原発第137号 (2022年6月10日) 関原発第209号 (2022年7月1日) 関原発第580号 (2022年12月27日) 関原発第80号 (2023年5月26日) 関原発第166号 (2023年6月21日) |
|--------------------|--|

上記以降の変更を検査申請書の変更申請により確認し表中に追記する。

検査結果一覧表

成績書管理番号：1-52

| 検査年月日 | 検査結果 | 原子力検査官 | 検査立会責任者 | 特記事項 |
|--------------|------|---------------|--|------|
| 令和5年 7月3日 | 良 | 種市 隆人 須貝 実 | ボイラー・タービン主任技術者 [Redacted] 電気主任技術者 [Redacted] 発電用原子炉主任技術者 [Redacted] | なし |

ω

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録 共通事項

成績書管理番号：1-52

検査年月日：令和 5 年 7 月 3 日

検査場所：関西電力株式会社 高浜発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

| 確認事項 | 確認方法 | 確認結果 | 備考 |
|-------------------------------------|------|------|----|
| 本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。 | 記録確認 | ◎良・— | |
| 検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。 | 記録確認 | ◎良・— | |
| 工事計画の認可番号の記載が適切であること。 | 記録確認 | ◎良・— | |

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録

基本設計方針に係る検査

成績書管理番号：1-52

検査年月日：令和 5 年 7 月 3 日

検査場所：関西電力株式会社 高浜発電所

検査前確認事項

| 確認事項 | 結果 | 備考 |
|---|------|----|
| 申請者の品質記録及びエビデンスが準備されていること。 | ◎良・— | |
| 基準適合性を確保するための設計結果と適合性確認状況一覧表が作成され、申請者の適合性確認検査において漏れなく確認されていること。 | ◎良・— | |

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録 確認結果一覧表

成績書管理番号：1-52

検査年月日：令和 5 年 7 月 3 日

検査場所：関西電力株式会社 高浜発電所

6/E

| 施設名 | 機器等の名称 (設備区分) | 確認した基本設計方針 | 記録確認した適合性確認 検査要領書、成績書等 | 現場確認した設備等 | 判定基準 | 確認 結果 |
|----------------|-------------------|---|---------------------------|-----------|---|----------|
| その他発電用原子炉の附属施設 | 補助ボイラー 設備の相互接続 | <p>確認した基本設計方針：</p> <p>2. 設備の相互接続</p> <p>補助蒸気連絡ライン（低圧）は、1号機及び2号機の共用配管と3号機及び4号機の共用配管を相互接続するものの、通常は連絡弁を閉止することで物理的に分離されることから、悪影響を及ぼすことはなく、連絡ライン使用時においても、1号機、2号機、3号機及び4号機の各系統の補助蒸気の圧力は同じとし、発電用原子炉施設の安全性を損なうことのない設計とする。また、1号機及び2号機の補助蒸気配管については、相互接続し、通常は連絡弁を開けて連絡するものの、各号機の補助蒸気の圧力は同じとし、また、融通に必要な供給容量を有することで、発電用原子炉施設の安全性を損なうことがなく、連絡ラインを使用しない場合は、連絡弁の閉止により物理的に分離することで、悪影響を及ぼさない設計とする。</p> <p>確認対象： 補助蒸気連絡ライン（低圧）及び連絡弁の接続状況</p> | T2-3-0602 | | 保安活動が基本設計方針に従って行われ、設備及び機器が基本設計方針に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。 | 良 |

関西電力株式会社
高浜発電所第2号機
使用前検査成績書

要領書番号 : 原規規収第 1610072 号 99

成績書管理番号 : 1-53

令和 5 年 8 月

原子力規制委員会

使用前検査成績書

成績書管理番号：1-53

- 1 発電所名 関西電力株式会社高浜発電所第2号機
- 2 検査申請 検査申請一覧表のとおり
- 3 検査期日 自 令和3年2月4日
至 令和5年8月1日
- 4 検査場所 使用前検査記録のとおり
- 5 検査実施者 検査結果一覧表のとおり
- 6 検査結果 検査結果一覧表のとおり
- 7 添付資料 使用前検査記録

検査申請一覧表

| | |
|--------------------|---|
| 検査申請書番号 (申請年月日) | 関原発第321号(平成28年10月7日) 関原発第435号(平成30年3月20日) 関原発第47号(平成30年4月20日) 関原発第203号(平成30年7月4日) 関原発第260号(平成30年8月20日) 関原発第416号(平成30年12月5日) 関原発第505号(平成31年2月1日) 関原発第513号(平成31年2月6日) 関原発第4号(平成31年4月4日) 関原発第69号(2019年5月16日) 関原発第116号(2019年6月24日) 関原発第205号(2019年8月23日) 関原発第511号(2020年1月31日) 関原発第543号(2020年2月26日) 関原発第618号(2020年3月24日) 関原発第 23号(2020年4月7日) 関原発第 23号(2021年4月30日) 関原発第293号(2021年8月2日) 関原発第562号(2022年2月28日) 関原発第585号(2022年3月15日) 関原発第137号(2022年6月10日) 関原発第209号(2022年7月1日) 関原発第580号(2022年12月27日) 関原発第80号(2023年5月26日) 関原発第166号(2023年6月21日) 関原発第256号(2023年7月26日) |
|--------------------|---|

上記以降の変更を検査申請書の変更申請により確認し表中に追記する。

検査結果一覧表

成績書管理番号：1-53

| 検査年月日 | 検査結果 | 原子力検査官 | 検査立会責任者 | 特記事項 |
|--------------|------|--------|--|------|
| 令和3年 2月4日 | 良 | 増本 豊 | 発電用原子炉主任技術者 [Redacted] 電気 主任技術者 [Redacted] ボイラー-タービン 主任技術者 [Redacted] | なし |

3

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録
共通事項

成績書管理番号：1-53

検査年月日：令和 3 年 2 月 4 日

検査場所：関西電力株式会社 高浜発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

| 確認事項 | 確認方法 | 確認結果 | 備考 |
|-------------------------------------|------|------|----|
| 本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。 | 記録確認 | ◎良・一 | |
| 検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。 | 記録確認 | ◎良・一 | |
| 工事計画の認可番号の記載が適切であること。 | 記録確認 | ◎良・一 | |

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録

基本設計方針に係る検査

成績書管理番号：1-53

検査年月日：令和 3 年 2 月 4 日

検査場所：関西電力株式会社 高浜発電所

検査前確認事項

| 確認事項 | 結果 | 備考 |
|---|------|----|
| 申請者の品質記録及びエビデンスが準備されていること。 | ◎良・一 | |
| 基準適合性を確保するための設計結果と適合性確認状況一覧表が作成され、申請者の適合性確認検査において漏れなく確認されていること。 | ◎良・一 | |

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録 確認結果一覧表

成績書管理番号：1-53

検査年月日：令和 3 年 2 月 4 日

検査場所：関西電力株式会社 高浜発電所

| 施設名 | 機器等の名称 (設備区分) | 確認した基本設計方針※1 | 記録確認した適合性確認 検査要領書、成績書等 | 現場確認し た設備等 | 判定基準 | 確認 結果 |
|--------------------|------------------|--|---------------------------|---|---|----------|
| 発電用原子炉施設 (共通項目) | その他 | <p>確認した基本設計方針：</p> <p>6. その他</p> <p>6. 3 安全避難通路等</p> <p>発電用原子炉施設には、位置を明確かつ恒久的に表示することにより容易に識別できる安全避難通路及び電源が喪失した場合においても機能を損なわない避難用照明として蓄電池を内蔵した非常灯(「1号機設備、1・2号機共用、1号機に設置」、「1・2号機共用、2号機に設置」)及び誘導灯(「1号機設備、1・2号機共用、1号機に設置」、「1・2号機共用、2号機に設置」)を設置し、安全に避難できる設計とする。</p> <p>設計基準事故が発生した場合に用いる照明として内蔵電池の電源を備える作業用照明(「1号機設備、1・2号機共用、1号機に設置」、「1・2号機共用、2号機に設置」(以下同じ。))を設置する。</p> | T2-3-1824 | 中央制御室の非常灯兼作業用照明及び2号洗浄排水処理装置室(1・2号機共用)の作業用照明 | 保安活動が基本設計方針に従って行われ、設備及び機器が基本設計方針に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。 | 良 |

| | | | | | |
|---|--|---|--|--|--|
| <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">発電用原子炉施設（共通項目）</p> | | <p>作業用照明のうち、設計基準事故が発生した後、継続的作業又は長期間の滞在が考えられる箇所及びそれらへのアクセスルートに設置するものは、非常用低圧母線からの給電が可能な設計とする。</p> <p>確認対象： 非常灯（1・2号機共用）作業用照明（1・2号機共用）の外観・据付</p> | | | |
|---|--|---|--|--|--|

※1：下線部を除く部分を確認した。

7

| 施設名 | 機器等の名称 (設備区分) | 確認した基本設計方針※1 | 記録確認した適合性確認 検査要領書、成績書等 | 現場確認し た設備等 | 判定基準 | 確認 結果 |
|----------------------------|-------------------|--|--|--|--|----------|
| その他発電用原子炉の附属施設 (火災防護設備) | 火災防護設備の基本 設計方針 | <p>確認した基本設計方針：</p> <p>1. 火災防護設備の基本設計方針</p> <p>(2) 火災の感知及び消火</p> <p>b. 消火設備</p> <p>火災防護上重要な機器等及び重大事故等対処施設を設置する火災区域又は火災区画には、設備の破損、誤動作又は誤操作により消火剤が放出されても、原子炉を安全に停止させるための機能又は重大事故等に対処するために必要な機能を有する電気及び機械設備に影響を与えない消火設備を設置する。消火設備として、火災発生時の煙の充満又は放射線の影響により消火活動が困難となるところは、自動消火設備又は手動操作による固定式消火設備であるスプリンクラー（「1号機設備、1・2号機共用、1号機に設置」、「1・2号機共用、1号機に設置」、「3号機設備、1・2・3・4号機共用、3号機に設置」（以下同じ。）、全域ハロン消火設備（「1号機設備、1・2号機共用、1号機に設置」、「1号機設備、1・2・3・</p> | <p>T 2-3-0216</p> <p>T 2-3-1809</p> <p>(その1)</p> | <p>2号機 洗浄排水処理装置室（1・2号機共用）に設置しているスプリンクラー及びA/B 24mに設置されている予作動弁</p> | <p>保安活動が基本設計方針に従って行われ、設備及び機器が基本設計方針に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。</p> | <p>良</p> |

6

その他発電用原子炉の附属施設（火災防護設備）

4号機共用、1号機に設置」(以下同じ。))、局所ハロン消火設備（「1号機設備、1・2号機共用、1号機に設置」、「3号機設備、1・2・3・4号機共用、3号機に設置」(以下同じ。))、ケーブルトレイ消火設備（「1号機設備、1・2号機共用、1号機に設置」、「3号機設備、1・2・3・4号機共用、3号機に設置」(以下同じ。))、二酸化炭素消火設備、エアロゾル消火設備（「1号機設備、1・2号機共用、1号機に設置」、「3号機設備、1・2・3・4号機共用、3号機に設置」(以下同じ。))、水噴霧消火設備（「1号機設備、1・2号機共用、1号機に設置」、「3号機設備、1・2・3・4号機共用、3号機に設置」(以下同じ。))により消火を行う設計とし、火災発生時の煙の充満又は放射線の影響により消火活動が困難とならないところは、自動消火設備である海水ポンプの二酸化炭素消火設備並びに可搬型の消火器又は消火栓により消火を行う設計とする。

| | | | | | |
|------------------------|--|--|--|--|--|
| その他発電用原子炉の附属施設（火災防護設備） | | <p> スプリンクラーは、消火対象が放水範囲内に入る設計とし、<u>動作後は消火状況の確認、消火状況を踏まえた消火活動の実施、プラント運転状況の確認を行う運用とする。</u> </p> <p> 確認対象： スプリンクラー（予作動弁、スプリンクラーヘッド、警報装置、蓄電池等を含む）（1部1・2号機共用）の据付・外観及び機能・性能 </p> | | | |
|------------------------|--|--|--|--|--|

※1：下線部を除く部分を確認した。

| 施設名 | 機器等の名称 (設備区分) | 確認した基本設計方針 | 記録確認した適合性確認 検査要領書、成績書等 | 現場確認し た設備等 | 判定基準 | 確認 結果 |
|--------------------|------------------|--|-----------------------------------|---------------|--|----------|
| 発電用原子炉施設 (共通項目) | 設備に対する要求 | <p>確認した基本設計方針：</p> <p>5. 設備に対する要求</p> <p>5. 1 安全設備、設計基準対象施設及び重大事故等対処設備</p> <p>5. 1. 3 悪影響防止等</p> <p>(4) 悪影響防止</p> <p>なお、号機毎に必要な容量を有した設備を配備又は保管することにより、1号機、2号機、3号機及び4号機の同時被災を考慮しても、他号機（1号機、2号機、3号機及び4号機のうち自号機を除く。）の対応に悪影響を及ぼさないよう設計する。</p> <p>確認対象：</p> <p>燃料油貯油そう（重大事故等時のみ1・2号機共用）及びディーゼル発電機（重大事故等時のみ1・2号機共用）の状態確認</p> | <p>T2-3-0510</p> <p>T2-3-0921</p> | | <p>保安活動が基本設計方針に従って行われ、設備及び機器が基本設計方針に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。</p> | 良 |

| 施設名 | 機器等の名称 (設備区分) | 確認した基本設計方針 | 記録確認した適合性確認 検査要領書、成績書等 | 現場確認し た設備等 | 判定基準 | 確認 結果 |
|---------------------------|------------------|--|---|---------------|--|----------|
| その他発電用原子炉の附属施設 (非常用電源) | 非常用電源設備の電 源系統 | <p>確認した基本設計方針：</p> <p>1. 非常用電源設備の電源系統</p> <p>1. 3 号機間電力融通系統</p> <p>ディーゼル発電機及び燃料油貯油そうは、重大事故等時に号機間電力融通を行う場合のみ1号機及び2号機共用とする。</p> <p>確認対象：</p> <p>燃料油貯油そう（重大事故等時のみ1・2号機共用）及びディーゼル発電機（重大事故等時のみ1・2号機共用）の状態確認</p> | <p>T2-3-0501 (その9)</p> <p>T2-3-0921</p> | / | <p>保安活動が基本設計方針に従って行われ、設備及び機器が基本設計方針に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。</p> | 良 |

検査結果一覧表

成績書管理番号：1-53

| 検査年月日 | 検査結果 | 原子力検査官 | 検査立会責任者 | 特記事項 |
|--------------|------|--------------|---|------|
| 令和5年 8月1日 | 良 | 増本 豊 江頭 豊 | 発電用原子炉 主任技術者 [Redacted] 圧気 主任技術者 [Redacted] ボイラー・タービン 主任技術者 [Redacted] | なし |

ω

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録 共通事項

成績書管理番号：1-53

検査年月日：令和 5 年 8 月 1 日

検査場所：関西電力株式会社 高浜発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

| 確認事項 | 確認方法 | 確認結果 | 備考 |
|-------------------------------------|------|------|----|
| 本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。 | 記録確認 | ◎良・一 | |
| 検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。 | 記録確認 | ◎良・一 | |
| 工事計画の認可番号の記載が適切であること。 | 記録確認 | ◎良・一 | |

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録

基本設計方針に係る検査

成績書管理番号：1-53

検査年月日：令和 5 年 8 月 1 日

検査場所：関西電力株式会社 高浜発電所

検査前確認事項

| 確認事項 | 結果 | 備考 |
|---|-----|----|
| 申請者の品質記録及びエビデンスが準備されていること。 | ◎・— | |
| 基準適合性を確保するための設計結果と適合性確認状況一覧表が作成され、申請者の適合性確認検査において漏れなく確認されていること。 | ◎・— | |

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録 確認結果一覧表

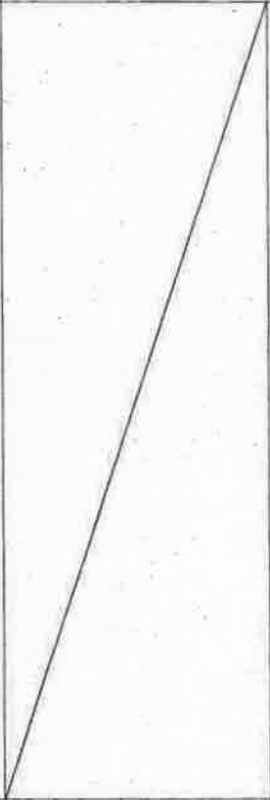
成績書管理番号：1-53

検査年月日：令和 5年 8月 1日

検査場所：関西電力株式会社 高浜発電所

| 施設名 | 機器等の名称 (設備区分) | 確認した基本設計方針 | 記録確認した適合性確認 検査要領書、成績書等 | 現場確認した設備等 | 判定基準 | 確認 結果 |
|------------------------------------|--------------------------------------|---|---------------------------|-----------|---|----------|
| 共通項目 (全ての施設共通) (非常用電源設備、火災防護設備) | 安全設備、設計 基準対象施設 及び重大事故 等対処設備 | 確認した基本設計方針： 5. 設備に対する要求 5. 1 安全設備、設計基準対象施設及び重大事 故等対処設備 5. 1. 3 悪影響防止等 (4) 悪影響防止 他設備への系統的な影響（電気的な影響を含 む。）に対しては、 <u>重大事故等対処設備</u> は、他の設 備に悪影響を及ぼさないように、弁の閉止等によ って、通常時の系統構成から <u>重大事故等対処設備</u> としての系統構成及び系統隔離をすること、通常 時の分離された状態から接続により <u>重大事故等対 処設備</u> としての系統構成をすること、又は他の設 備から独立して単独で使用可能なこと、並びに通 常時の系統構成を変えなく重大事故等対処 設備としての系統構成をすることにより、他の設 備に悪影響を及ぼさない設計とする。 | T2-3-0510 T2-3-0921 | | 保安活動が基本設 計方針に従って行 われ、設備及び機 器が基本設計方針 に従い製作され、 据付けされ、所定 の性能を有してお り、技術基準に適 合するものである こと。 | 良 |

91

| 施設名 | 機器等の名称 (設備区分) | 確認した基本設計方針※ | 記録確認した適合性確認 検査要領書、成績書等 | 現場確認した設備等 | 判定基準 | 確認 結果 |
|---|--------------------------------------|---|---------------------------|--|---|----------|
| 共通項目 (全ての施設共通) (非常用電源設備、及びその他発電用原子炉の附属施設) | 安全設備、設計 基準対象施設 及び重大事故 等対処設備 | 確認対象： ・調速装置（重大事故等時のみ1・2号機共用） （ディーゼル発電機）の状態確認 ・非常用調速装置（重大事故等時のみ1・2号機 共用）（ディーゼル発電機）の状態確認 ・空気だめ（重大事故等時のみ1・2号機共用） （ディーゼル発電機）の状態確認 ・2AG-A018A、B 2BG-A018A、B（重大事故等時の み1・2号機共用）（ディーゼル発電機）の状 態確認 ・（自動しゃ断用）ディーゼル発電機保護継電装 置（重大事故等時のみ1・2号機共用）（ディ ーゼル発電機）の状態確認 ・（警報用）ディーゼル発電機保護継電装置（重 大事故等時のみ1・2号機共用）（ディーゼル 発電機）の状態確認 ・直結（重大事故等時のみ1・2号機共用）（デ ィーゼル発電機）の状態確認 | T2-3-0510 T2-3-0921 |  | 保安活動が基本設 計方針に従って行 われ、設備及び機 器が基本設計方針 に従い製作され、 据付けされ、所定 の性能を有してお り、技術基準に適 合するものである こと。 | |

81

| 施設名 | 機器等の名称 (設備区分) | 確認した基本設計方針* | 記録確認した適合性確認 検査要領書、成績書等 | 現場確認した設備等 | 判定基準 | 確認 結果 |
|--|---------------------|---|--------------------------------|------------------|--|----------|
| <p>共通項目 (全ての施設共通) (非常用電源設備、火災防護設備)</p> | <p>安全避難通路 等</p> | <p>確認した基本設計方針： 6. その他 6. 3 安全避難通路等 発電用原子炉施設には、位置を明確かつ恒久的に表示することにより容易に識別できる安全避難通路及び電源が喪失した場合においても機能を損なわない避難用照明として蓄電池を内蔵した非常灯（「1・2号機共用、1号機に設置」、「2号機設備、1・2号機共用、2号機に設置」）及び誘導灯（「1・2号機共用、1号機に設置」、「2号機設備、1・2号機共用、2号機に設置」）を設置し、安全に避難できる設計とする。 設計基準事故が発生した場合に用いる照明として内蔵電池の電源を備える作業用照明（「1・2号機共用、1号機に設置」、「2号機設備、1・2号機共用、2号機に設置」（以下同じ。））を設置する。 万一、作業用照明設置箇所以外での対応が必要になった場合及び作業用照明電源が枯渇した場合等において、<u>可搬型照明</u>（「1・2号機共用、1号機に保管」、「2号機設備、1・2号機共用、2号機に保管」）の準備に時間的余裕がある場合に活用できる可搬型照明を配備する。</p> | <p>T2-3-1403 T2-3-1824</p> | <p>現場確認した設備等</p> | <p>保安活動が基本設計方針に従って行われ、設備及び機器が基本設計方針に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。</p> | <p>良</p> |

19/E

| 施設名 | 機器等の名称 (設備区分) | 確認した基本設計方針* | 記録確認した適合性確認 検査要領書、成績書等 | 現場確認した設備等 | 判定基準 | 確認 結果 |
|------------------------------------|------------------|---|---------------------------|-----------|---|----------|
| 共通項目 (全ての施設共通) (非常用電源設備、火災防護設備) | 安全避難通路 等 | 確認対象： ・誘導灯 (1・2号機共用) の据付、外観及び機能・性能 ・可搬型照明 (1・2号機共用) の保管状態確認 | | | 保安活動が基本設計方針に従って行われ、設備及び機器が基本設計方針に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。 | |

関西電力株式会社
高浜発電所第2号機
使用前検査成績書

要領書番号：原規規収第1610072号99
成績書管理番号：1-54

令和5年3月

原子力規制委員会

使用前検査成績書

成績書管理番号：1-54

- 1 発電所名 関西電力株式会社高浜発電所第2号機
- 2 検査申請 検査申請一覧表のとおり
- 3 検査期日 自 令和5年 3月 13日
至 令和5年 3月 13日
- 4 検査場所 使用前検査記録のとおり
- 5 検査実施者 検査結果一覧表のとおり
- 6 検査結果 検査結果一覧表のとおり
- 7 添付資料 使用前検査記録



検査申請一覧表

| | |
|--------------------|--|
| 検査申請書番号 (申請年月日) | 関原発第321号(平成28年10月7日) 関原発第435号(平成30年3月20日) 関原発第47号(平成30年4月20日) 関原発第203号(平成30年7月4日) 関原発第260号(平成30年8月20日) 関原発第416号(平成30年12月5日) 関原発第505号(平成31年2月1日) 関原発第513号(平成31年2月6日) 関原発第4号(平成31年4月4日) 関原発第69号(2019年5月16日) 関原発第116号(2019年6月24日) 関原発第205号(2019年8月23日) 関原発第511号(2020年1月31日) 関原発第543号(2020年2月26日) 関原発第618号(2020年3月24日) 関原発第 23号(2020年4月7日) 関原発第 23号(2021年4月30日) 関原発第293号(2021年8月2日) 関原発第562号(2022年2月28日) 関原発第585号(2022年3月15日) 関原発第137号(2022年6月10日) 関原発第209号(2022年7月1日) 関原発第580号(2022年12月27日) |
|--------------------|--|

上記以降の変更を検査申請書の変更申請により確認し表中に追記する。

検査結果一覧表

成績書管理番号：1-54

| 検査年月日 | 検査結果 | 原子力検査官 | 検査立会責任者 | 特記事項 |
|---------------|------|--------------|---|------|
| 令和5年 3月13日 | 良 | 平井 隆 渋谷 徹 | ボイラー・タービン主任技術者  発電用原子炉主任技師者  | なし |

3

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録
共通事項

成績書管理番号：1-54

検査年月日：令和 5 年 3 月 13 日

検査場所：関西電力株式会社 高浜発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

| 確認事項 | 確認方法 | 確認結果 | 備考 |
|-------------------------------------|------|------|----|
| 本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。 | 記録確認 | Ⓔ・一 | |
| 検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。 | 記録確認 | Ⓔ・一 | |
| 工事計画の認可番号の記載が適切であること。 | 記録確認 | Ⓔ・一 | |

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録

基本設計方針に係る検査

成績書管理番号：1-54

検査年月日：令和 5 年 3 月 13 日

検査場所：関西電力株式会社 高浜発電所

検査前確認事項

| 確認事項 | 結果 | 備考 |
|---|-----|----|
| 申請者の品質記録及びエビデンスが準備されていること。 | ◎・— | |
| 基準適合性を確保するための設計結果と適合性確認状況一覧表が作成され、申請者の適合性確認検査において漏れなく確認されていること。 | ◎・— | |

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録 確認結果一覧表

成績書管理番号：1-54

検査年月日：令和 5 年 3 月 13 日

検査場所：関西電力株式会社 高浜発電所

| 施設名 | 機器等の名称 (設備区分) | 確認した基本設計方針 | 記録確認した適合性確認 検査要領書、成績書等 | 現場確認した設備等 | 判定基準 | 確認 結果 |
|---------------------------------------|-------------------|--|---------------------------|-----------------------|---|----------|
| 6/E その他発電用原子炉の 附属施設 (火災防護設備) | 火災防護設備の 基本設計方針 | <p>確認した基本設計方針：</p> <p>1. 火災防護設備の基本設計方針</p> <p>(2) 火災の感知及び消火</p> <p>b. 消火設備</p> <p>(a) 消火設備の消火剤の容量</p> <p>消火用水供給系の水源である淡水タンク(「1号機設備、1・2号機共用、1号機に設置」、「3号機設備、1・2・3・4号機共用、3号機に設置」(以下同じ。))、地震等により淡水タンクが使用できない場合に使用する消火水バックアップタンク(1号機設備、1・2号機共用、1号機に設置(以下同じ。))は、スプリンクラーの最大放水量で、消火を2時間継続した場合の水量を確保する設計とする。</p> <p>確認対象： 消火水バックアップタンク(1・2号機共用)</p> | T2-3-0410 | 消火水バックアップタンク(1・2号機共用) | 保安活動が基本設計方針に従って行われ、設備及び機器が基本設計方針に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。 | 良 |

関西電力株式会社
高浜発電所第2号機

構造、強度又は漏えいに係る
使用前検査成績書

施設名 : 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設

系統名 : 燃料取扱設備

新燃料又は使用済燃料を取扱う機器

使用済燃料ピットクレーン

要領書番号 : 原規規収第 1610072 号 2-01




平成 30 年 11 月

原子力規制委員会

使用前検査成績書

- 1 発電所名 関西電力株式会社高浜発電所第2号機
- 2 検査の種類 構造、強度又は漏えいに係る使用前検査
- 3 検査申請 使用前検査申請番号
関原発第321号(平成28年10月7日)
関原発第435号(平成30年3月20日)
関原発第47号(平成30年4月20日)
関原発第203号(平成30年7月4日)
関原発第260号(平成30年8月20日)
- 4 検査期日 自 平成30年11月29日
至 平成30年11月29日
- 5 検査場所 関西電力株式会社高浜発電所
福井県大飯郡高浜町田ノ浦
- 6 検査範囲 高浜発電所第2号機
発電用原子炉施設
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設
燃料取扱設備
新燃料又は使用済燃料を取扱う機器
使用済燃料ピットクレーン 1個
- 7 検査実施者 検査実施者一覧表のとおり
- 8 検査結果 検査結果一覧表のとおり
- 9 添付資料 使用前検査記録
- 1 検査前確認事項
 - 2 材料検査記録
 - 3 寸法検査記録
 - 4 外観検査記録
 - 5 組立て及び据付け状態を確認する検査記録

検査実施者一覧表

| 検査年月日 | 原子力施設検査官 印 | 検査立会責任者 印 | 特記事項 |
|-----------------|--|---|------|
| 平成30年 11月29日 | 奥本 昭治  環境技官 高橋 和宏  | ボイラータービン 主任技術者  | なし |
| 年 月 日 | | 主任技術者 | |
| 年 月 日 | | 主任技術者 | |

検査結果一覧表

系統名：燃料取扱設備 新燃料又は使用済燃料を取扱う機器

| 検査項目 | 材料検査 | 寸法検査 | 外観検査 | 組立て及び据付け 状態を確認する 検査 | 備 考 |
|------|----------------------|----------------------|----------------------|---------------------------|-----|
| 検査日 | 平成 30 年 11 月 29 日 | 平成 30 年 11 月 29 日 | 平成 30 年 11 月 29 日 | 平成 30 年 11 月 29 日 | |
| 結果 | 良 | 良 | 良 | 良 | |
| 検査日 | 年 月 日 | 年 月 日 | 年 月 日 | 年 月 日 | |
| 結果 | | | | | |
| 検査日 | 年 月 日 | 年 月 日 | 年 月 日 | 年 月 日 | |
| 結果 | | | | | |

高浜発電所第2号機 使用前検査記録 検査前確認事項

共通事項

使用前検査申請書の確認

| 確認事項 | 確認方法 | 検査年月日 | 結果 | 備考 |
|-------------------------------------|------|-----------------|----|--|
| 本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。 | 記録確認 | 平成30年 11月29日 | 良 | 使用前検査成績書の「3 検査申請」に申請番号（変更申請番号を含む。）を記載する。 |
| | | 年 月 日 | | |
| | | 年 月 日 | | |
| 検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。 | 記録確認 | 平成30年 11月29日 | 良 | |
| | | 年 月 日 | | |
| | | 年 月 日 | | |

高浜発電所第2号機 使用前検査記録

検査前確認事項

材料検査

| 確認事項 | 確認方法 | 検査年月日 | 結果 | 備考 |
|---------------------|-------|------------------|----|----|
| 申請者の品質記録が準備されていること。 | 記録確認 | 平成30年・ 11月29日 | 良 | |
| | | 年 月 日 | | |
| | | 年 月 日 | | |
| 必要な図面等が準備されていること。 | 図面等確認 | 平成30年・ 11月29日 | 良 | |
| | | 年 月 日 | | |
| | | 年 月 日 | | |

高浜発電所第2号機 使用前検査記録

検査前確認事項

寸法検査

| 確認事項 | 確認方法 | 検査年月日 | 結果 | 備考 |
|--|-------|-----------------|----|----|
| 申請者の品質記録が準備されていること。 | 記録確認 | 平成30年 11月29日 | 良 | |
| | | 年 月 日 | | |
| | | 年 月 日 | | |
| 必要な図面等が準備されていること。 | 図面等確認 | 平成30年 11月29日 | 良 | |
| | | 年 月 日 | | |
| | | 年 月 日 | | |
| 検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。 | 記録確認 | 平成30年 11月29日 | 良 | |
| | | 年 月 日 | | |
| | | 年 月 日 | | |

高浜発電所第2号機 使用前検査記録

検査前確認事項

外観検査・

| 確認事項 | 確認方法 | 検査年月日 | 結果 | 備考 |
|---------------------|-------|------------------|----|----|
| 申請者の品質記録が準備されていること。 | 記録確認 | 平成30年・ 11月29日 | 良 | |
| | | 年 月 日 | | |
| | | 年 月 日 | | |
| 必要な図面等が準備されていること。 | 図面等確認 | 平成30年・ 11月29日 | 良 | |
| | | 年 月 日 | | |
| | | 年 月 日 | | |

高浜発電所第2号機 使用前検査記録

検査前確認事項

組立て及び据付け状態を確認する検査。

| 確認事項 | 確認方法 | 検査年月日 | 結果 | 備考 |
|---------------------|-------|-----------------|----|----|
| 申請者の品質記録が準備されていること。 | 記録確認 | 平成30年 11月29日 | 良 | |
| | | 年 月 日 | | |
| | | 年 月 日 | | |
| 必要な図面等が準備されていること。 | 図面等確認 | 平成30年 11月29日 | 良 | |
| | | 年 月 日 | | |
| | | 年 月 日 | | |

| 高浜発電所第2号機 | | | | |
|---|----|-----------------|------|------|
| 材料検査記録 | | | | |
| 検査場所：関西電力株式会社高浜発電所 | | | | |
| 検査範囲：核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 燃料取扱設備 新燃料又は使用済燃料を取扱う機器 使用済燃料ピットクレーン | | | | |
| 判定基準：工事計画のとおりであり、技術基準に適合すること。 | | | | |
| 検査対象 | 材料 | 検査年月日 | 検査結果 | 検査方法 |
| 使用済燃料ピットクレーン (ホイストレール) | | 平成30年 11月29日 | 良 | 記録確認 |
| 備 考 ・記録確認は、申請者の品質記録（※）による。 ※：適合性確認検査成績書の識別番号：T2-1-0101 | | | | |

高浜発電所第2号機

寸法検査記録

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査範囲：核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 燃料取扱設備 新燃料又は使用済燃料を取扱う機器 使用済燃料ピットクレーン

判定基準：各部の主要寸法の測定値が許容寸法を満足すること。

| 検査対象 | 主要寸法 (mm) | 許容値 ^{※2} (mm) | 測定値 (mm) | 検査年月日 | 検査 結果 | 検査方法 |
|--------------|--------------|---------------------------|-------------|-----------------|----------|------|
| 使用済燃料ピットクレーン | 走行サドル長さ | | | 平成30年 11月29日 | 良 | 記録確認 |
| | 高さ | | | | | |
| | ホイストレール幅 | | | | | |
| | ホイストレール高さ | | | | | |

備考

※1：公称値 ※2：許容値は工事計画による。

・記録確認は、申請者の品質記録（※3）による。 ※3：適合性確認検査成績書の識別番号：T2-1-0101

| 高浜発電所第2号機 | | | |
|---|-----------------|------|--------------|
| 外観検査記録 | | | |
| 検査場所：関西電力株式会社高浜発電所 | | | |
| 検査範囲：核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 燃料取扱設備 新燃料又は使用済燃料を取扱う機器 使用済燃料ピットクレーン | | | |
| 判定基準：有害な欠陥（表面に機能・性能に影響を及ぼすおそれのある傷、割れ、変形、腐食、浸食）がないこと。 | | | |
| 検査対象 | 検査年月日 | 検査結果 | 検査方法 |
| 使用済燃料ピットクレーン | 平成30年 11月29日 | 良 | (目視) 記録確認 |
| 備考 記録確認は、申請者の品質記録（※）による。 ※：適合性確認検査成績書の識別番号： | | | |

高浜発電所第2号機

組立て及び据付け状態を確認する検査記録

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査範囲：核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 燃料取扱設備

新燃料又は使用済燃料を取扱う機器 使用済燃料ピットクレーン

判定基準：工事計画のとおりであり、技術基準に適合すること。

| 検査対象 | 検査年月日 | 検査結果 | 検査方法 |
|--------------|-----------------|------|------------|
| 使用済燃料ピットクレーン | 平成30年 11月29日 | 良 | 目視 記録確認 |

備考

~~記録確認は、申請者の品質記録（※）による。~~

~~※：適合性確認検査成績書の識別番号：~~

関西電力株式会社
高浜発電所第2号機
使用前検査成績書

要領書番号 : 原規規収第 1610072 号 99
成績書管理番号 : 0 2²⁻

令和 2 年 11 月

原子力規制委員会

使用前検査成績書

2-
成績書管理番号：02

- 1 発電所名 関西電力株式会社高浜発電所第2号機
- 2 検査申請 検査申請一覧表のとおり
- 3 検査期日 自 令和2年11月18日
至 令和2年11月18日
- 4 検査場所 使用前検査記録のとおり
- 5 検査実施者 検査結果一覧表のとおり
- 6 検査結果 検査結果一覧表のとおり
- 7 添付資料 使用前検査記録


検査申請一覧表

| | |
|--------------------|--|
| 検査申請書番号 (申請年月日) | 関原発第321号(平成28年10月7日) 関原発第435号(平成30年3月20日) 関原発第47号(平成30年4月20日) 関原発第203号(平成30年7月4日) 関原発第260号(平成30年8月20日) 関原発第416号(平成30年12月5日) 関原発第505号(平成31年2月1日) 関原発第513号(平成31年2月6日) 関原発第4号(平成31年4月4日) 関原発第69号(2019年5月16日) 関原発第116号(2019年6月24日) 関原発第205号(2019年8月23日) 関原発第511号(2020年1月31日) 関原発第543号(2020年2月26日) 関原発第618号(2020年3月24日) 関原発第23号(2020年4月7日) |
|--------------------|--|

上記以降の変更を検査申請書の変更申請により確認し表中に追記する。

検査結果一覧表

2-
成績書管理番号：02

| 検査年月日 | 検査結果 | 原子力検査官 | 検査立会責任者 | 特記事項 |
|----------------|------|--------|--|------|
| 令和2年 11月18日 | 良 | 平沢 淳 | ボイラー・タービン 主任技術者  | なし |

w

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録 共通事項

2-
成績書管理番号：02

検査年月日：令和2年 11月 18日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

| 確認事項 | 確認方法 | 確認結果 | 備考 |
|-------------------------------------|------|------|----|
| 本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。 | 記録確認 | ◎良・— | |
| 検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。 | 記録確認 | ◎良・— | |
| 工事計画の認可番号の記載が適切であること。 | 記録確認 | ◎良・— | |

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録 (一号検査)

成績書管理番号：02²⁻

検査年月日：令和2年 11月 18日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査前確認事項

| 確認事項 | 確認方法 | 結果 | 備考 |
|--|-------------|------|----|
| 申請者の品質記録が準備されていること。 | 記録確認 | ◎良・— | |
| 必要な図面等が準備されていること。 | 図面等確認 | ◎良・— | |
| 検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。 | 記録確認 | 良・⊖ | |
| 系統構成が完了していること。 | 立会/ 記録確認 | 良・⊖ | |

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録 (一号検査)

2-
成績書管理番号：02

検査年月日：令和2年 11月 18日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査結果

| 検査対象 | | | |
|--|--|------|--|
| 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 使用済燃料貯蔵設備 | | | |
| 検査項目 | 判定基準 | 検査結果 | 検査方法 |
| 組立て及び据付け状態を確認する検査 | 設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。 | 良 | 目視 記録確認※1 |
| <p>備考</p> <ul style="list-style-type: none"> ・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録（※）による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号：T2-1-1914 ・目視で確認した範囲：添付資料3-3参照 <p>※1：記録確認実施範囲については、別添1参照</p> <p>組立て及び据付け状態を確認する検査の記録確認として、バーナブルポイズン保管用ラックが撤去されていることを確認。</p> | | | |

工事計画本文(原規規発第 1606105 号(平成 28 年 6 月 10 日認可))

核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設

加圧水型発電用原子炉施設に係るものにあつては、次の事項

3 使用済燃料貯蔵設備に係る次の事項

(3) 使用済燃料貯蔵ラックの名称、種類、容量、主要寸法、材料及び個数

| | | | 変更前 | 変更後 |
|------|--------|----|-----------------|-----|
| 名 称 | | | バーナブルポイズン保管用ラック | 撤去 |
| 種 類 | — | | たて置角型 | |
| 容 量 | 体 | | 43 | |
| 主要寸法 | 中心間距離 | mm | | |
| | 内 の り | mm | | |
| | 全 高 | mm | | |
| 材 料 | (注2) — | | SUS304 | |
| 個 数 | — | | 1 | |

(注1) 公称値

(注2) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「本体材料」と記載

関西電力株式会社
高浜発電所第2号機

構造、強度又は漏えいに係る
使用前検査成績書

施設名：原子炉冷却系統施設

系統名：余熱除去設備

非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備

安全弁及び逃がし弁（常設）

要領書番号：原規規収第1610072号2-03

令和3年4月

原子力規制委員会

使用前検査成績書

- 1 発電所名 関西電力株式会社高浜発電所第2号機
- 2 検査の種類 構造、強度又は漏えいに係る使用前検査
- 3 検査申請 使用前検査申請番号
関原発第321号(平成28年10月7日)
関原発第435号(平成30年3月20日)
関原発第47号(平成30年4月20日)
関原発第203号(平成30年7月4日)
関原発第260号(平成30年8月20日)
関原発第416号(平成30年12月5日)
関原発第505号(平成31年2月1日)
関原発第513号(平成31年2月6日)
関原発第4号(平成31年4月4日)
関原発第69号(2019年5月16日)
関原発第116号(2019年6月24日)
関原発第205号(2019年8月23日)
関原発第511号(2020年1月31日)
関原発第543号(2020年2月26日)
関原発第618号(2020年3月24日)
関原発第23号(2020年4月7日)
- 4 検査期日 自 令和元年 9 月 27 日
至 令和3年 4 月 22 日
- 5 検査場所 関西電力株式会社高浜発電所
福井県大飯郡高浜町田ノ浦
東亜バルブエンジニアリング株式会社
兵庫県尼崎市西立花町
- 6 検査範囲 高浜発電所第2号機
発電用原子炉施設
原子炉冷却系統施設
余熱除去設備
非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備
安全弁及び逃がし弁(常設) 2個




7 検査実施者 検査実施者一覧表のとおり

8 検査結果 検査結果一覧表のとおり

9 添付資料 使用前検査記録

- 1 検査前確認事項
- 2 材料検査記録
- 3 寸法検査記録
- 4 外観検査記録
- 5 組立て及び据付け状態を確認する検査記録
- 6 検査用計器一覧表

検査実施者一覧表

| 検査年月日 | 原子力施設検査官 印* | 検査立会責任者 印* | 特記事項 |
|---------------|---|--|------|
| 令和元年 9月27日 | 須貝 実  | ボイラー - ターゼン 主任技術者  | なし |
| 令和3年 4月22日 | 原子力検査官 平沢 淳 福富 晋一 | ボイラー - ターゼン 主任技術者  | なし |
| 年 月 日 | | 主任技術者 | |

*: 令和2年10月1日より押印省略

検査結果一覧表

系統名：余熱除去設備、非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備
安全弁及び逃がし弁（常設）

| 検査項目 | 材料検査 | 寸法検査 | 外観検査 | 組立て及び据付け 状態を確認する検査 | 備考 |
|------|---------------|---------------|---------------|-----------------------|----|
| 検査日 | 令和元年 9月27日 | 令和元年 9月27日 | 年 月 日 | 年 月 日 | |
| 結果 | 良 | 良 | / | | |
| 検査日 | 年 月 日 | 年 月 日 | 令和3年 4月22日 | 令和3年 4月22日 | |
| 結果 | / | | 良 | 良 | |
| 検査日 | 年 月 日 | 年 月 日 | 年 月 日 | 年 月 日 | |
| 結果 | / | | | | |

ナ

高浜発電所第2号機 使用前検査記録

検査前確認事項

共通事項

使用前検査申請書の確認

| 確認事項 | 確認方法 | 検査年月日 | 結果 | 備考 |
|-------------------------------------|------|---------------|----|---|
| 本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。 | 記録確認 | 令和元年 9月27日 | 良 | 使用前検査成績書の「3検査申請」に申請番号（変更申請番号を含む。）を記載する。 |
| | | 令和3年 4月22日 | 良 | |
| | | 年 月 日 | | |
| 検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。 | 記録確認 | 令和元年 9月27日 | 良 | |
| | | 令和3年 4月22日 | 良 | |
| | | 年 月 日 | | |
| 工事計画の認可番号の記載が適切であること。 | 記録確認 | 令和元年 9月27日 | 良 | |
| | | 令和3年 4月22日 | 良 | |
| | | 年 月 日 | | |

高浜発電所第2号機 使用前検査記録

検査前確認事項

材料検査

| 確認事項 | 確認方法 | 検査年月日 | 結果 | 備考 |
|---------------------|-------|---------------------------|----|----|
| 申請者の品質記録が準備されていること。 | 記録確認 | 令和元年 9月27日 | 良 | |
| | | 令和3年 4月22日 | 良 | |
| | | 年 月 日 | | |
| 必要な図面等が準備されていること。 | 図面等確認 | 令和元年 9月27日 | 良 | |
| | | 令和3年 4月22日 | 良 | |
| | | 年 月 日 | | |

※誤記入の取除 令和3年4月22日 宿屋

高浜発電所第2号機 使用前検査記録

検査前確認事項

寸法検査

| 確認事項 | 確認方法 | 検査年月日 | 結果 | 備考 |
|--|-------|---------------------------|----|----|
| 申請者の品質記録が準備されていること。 | 記録確認 | 令和元年 9月27日 | 良 | |
| | | 令和3年 4月22日 | 良 | |
| | | 年 月 日 | | |
| 必要な図面等が準備されていること。 | 図面等確認 | 令和元年 9月27日 | 良 | |
| | | 令和3年 4月22日 | 良 | |
| | | 年 月 日 | | |
| 検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。 | 記録確認 | 令和元年 9月27日 | 良 | |
| | | 年 月 日 | | |
| | | 年 月 日 | | |

※該記入のため削除 令和3年4月22日 福富

高浜発電所第2号機 使用前検査記録

検査前確認事項

外観検査

| 確認事項 | 確認方法 | 検査年月日 | 結果 | 備考 |
|---------------------|-------|---------------|----|----|
| 申請者の品質記録が準備されていること。 | 記録確認 | 令和3年 4月22日 | 良 | |
| | | 年 月 日 | | |
| | | 年 月 日 | | |
| 必要な図面等が準備されていること。 | 図面等確認 | 令和3年 4月22日 | 良 | |
| | | 年 月 日 | | |
| | | 年 月 日 | | |

高浜発電所第2号機 使用前検査記録

検査前確認事項

組立て及び据付け状態を確認する検査

| 確認事項 | 確認方法 | 検査年月日 | 結果 | 備考 |
|---------------------|-------|---------------|----|----|
| 申請者の品質記録が準備されていること。 | 記録確認 | 令和3年 4月22日 | 良 | |
| | | 年 月 日 | | |
| | | 年 月 日 | | |
| 必要な図面等が準備されていること。 | 図面等確認 | 令和3年 4月22日 | 良 | |
| | | 年 月 日 | | |
| | | 年 月 日 | | |

高浜発電所第 2 号機

材料検査記録

検査場所：東亜バルブエンジニアリング株式会社

~~関西電力株式会社高浜発電所~~

検査範囲：原子炉冷却系統施設

余熱除去設備

非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備

安全弁及び逃がし弁（常設）：2 個

判定基準：工事計画のとおりであり、技術基準に適合すること。

| 検査対象 | 使用材料 | 検査年月日 | 検査結果 | 検査方法 |
|---------------|------|---------------|------|------|
| 2V-8708A (弁箱) | | 令和元年 9月27日 | 良 | 記録確認 |
| 2V-8708B (弁箱) | | 令和元年 9月27日 | 良 | 記録確認 |

備考

- 記録確認は、申請者の品質記録（※）による。

※：適合性確認検査成績書の識別番号：T2-1-0206

高浜発電所第2号機

寸法検査記録

検査場所：東亜バルブエンジニアリング株式会社

検査範囲：原子炉冷却系統施設

余熱除去設備

非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備

安全弁及び逃がし弁（常設）：2個

判定基準：各部の主要寸法の測定値が許容値を満足すること。

| 検査対象 | | 主要寸法 ^{※1} (mm) | 許容値 ^{※2} (mm) | 測定値 (mm) | 検査年月日 | 検査結果 | 検査方法 |
|----------|-------|----------------------------|---------------------------|-----------------|---------------|------|-----------------|
| 2V-8708A | 呼び径 | 75 | 75~75.3 | 75.10 ~ 75.10 | 令和元年 9月27日 | 良 | 目視 / 記録確認 |
| | のど部の径 | 73 | 73~73.3 | 73.050 ~ 73.050 | | | |
| | 弁座口の径 | | | | | | |
| | リフト | | | | | | |
| 2V-8708B | 呼び径 | 75 | 75~75.3 | 75.10 ~ 75.10 | 令和元年 9月27日 | 良 | 目視 / 記録確認 |
| | のど部の径 | 73 | 73~73.3 | 73.050 ~ 73.050 | | | |
| | 弁座口の径 | | | | | | |
| | リフト | | | | | | |

備考

※1：公称値 ※2：許容値は工事計画による。

~~記録確認は、申請者の品質記録（※4）による。~~

~~※4：適合性確認検査成績書の識別番号~~

高浜発電所第2号機

外観検査記録

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査範囲：原子炉冷却系統施設

余熱除去設備

非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備

安全弁及び逃がし弁（常設）：2個

判定基準：有害な欠陥（表面に機能・性能に影響を及ぼすおそれのある傷、割れ、変形、腐食、浸食）がないこと。

| 検査対象 | 検査年月日 | 検査結果 | 検査方法 |
|----------|---------------|------|------------|
| 2V-8708A | 令和3年 4月22日 | 良 | 目視 記録確認 |
| 2V-8708B | 令和3年 4月22日 | 良 | 目視 記録確認 |

備考

- ・記録確認は、申請者の品質記録（※）による。

※：適合性確認検査成績書の識別番号：T2-1-0206

・なお、目視については弁体、記録確認においては弁座、弁箱内面について実施は

高浜発電所第2号機

組立て及び据付け状態を確認する検査記録

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査範囲：原子炉冷却系統施設

余熱除去設備

非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備

安全弁及び逃がし弁（常設）：2個

判定基準：工事計画のとおりであり、技術基準に適合すること。

| 検査対象 | 検査年月日 | 検査結果 | 検査方法 |
|----------|---------------|------|------------|
| 2V-8708A | 令和3年 4月22日 | 良 | 目視 記録確認 |
| 2V-8708B | 令和3年 4月22日 | 良 | 目視 記録確認 |

備考

~~記録確認は、申請者の品質記録（※）による。~~~~※：適合性確認検査成績書の識別番号：T2-1-0206~~

高浜発電所第2号機 使用前検査記録

検査用計器一覧表

検査年月日：令和元年9月27日

| 検査項目 | 検査用計器 | 管理番号 | 測定範囲 | 測定精度 | 校正年月日 有効期限 | 備考 |
|------|---------|------------|------------|------------|---------------|----|
| 寸法検査 | ノギス | [REDACTED] | [REDACTED] | [REDACTED] | 2018.12.21 | |
| | | | | | 2019.12.31 | |
| 寸法検査 | ノギス | | | | 2018.12.21 | |
| | | | | | 2019.12.31 | |
| 寸法検査 | シリンダゲージ | | | | 2018.12.21 | |
| | | | | | 2019.12.31 | |
| 寸法検査 | ダイヤルゲージ | | | | 2018.12.21 | |
| | | 2019.12.31 | | | | |
| 寸法検査 | マイクロメータ | | | | 2018.12.21 | |
| | | | | | 2019.12.31 | |
| 寸法検査 | デプスゲージ | | | | 2018.12.21 | |
| | | | | | 2019.12.31 | |
| 以下余白 | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

設 備 概 要

工事計画本文（原規規発第 1606105 号（平成 28 年 6 月 10 日認可））（1 / 2）

原子炉冷却系統施設

加圧水型発電用原子炉施設に係るもの（蒸気タービンに係るものを除く。）にあつては次の事項

6 余熱除去設備に係る次の事項

(5) 安全弁及び逃がし弁の名称、種類、吹出圧力、吹出量、主要寸法、材料、駆動方法、個数及び取付箇所

・常設

| | | 変 更 前 | | 変 更 後 | |
|------------------------------|-----------------------------|----------------------------|--|--|--|
| 名 称 ^(注1) | | 2V-8708A、B ^(注2) | | 2V-8708A、B ^(注3) | |
| 種 類 | — | 平衡形 ^(注4) | | 同左 | |
| 吹 出 圧 力 | MPa | 3.1 ^(注5,6) | | | |
| 吹 出 量 | kg/h/個 | 176.025 以上 ^(注5) | | | |
| 主 要 寸 法 | 呼 び 径 ^(注7) | mm | 75 ^(注8) | 73 ^(注9) | |
| | の ど 部 の 径 | mm | 39 ^(注5,9) | | |
| | 弁 座 口 の 径 | mm | | | |
| | リ フ ト | mm | | | |
| 材 料 (弁 箱) ^(注10) | — | SCS14 ^(注11) | | SCS14A | |
| 駆 動 方 法 ^(注12) | — | — | | | |
| 個 数 | — | 2 | | | |
| 取 付 箇 所 | 系 統 名 (ラ イ ン 名) | — | 2V-8708A A余熱除去ポンプ入口ライン ^(注14) | 2V-8708B B余熱除去ポンプ入口ライン ^(注14) | |
| | 設 置 床 | — | | | |
| | 溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号 | — | | | |
| | 溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ | — | | | |

(注1) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁名称」と記載

(注2) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「2-8708A、B」と記載

(注3) 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備と兼用

(注4) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「逃し弁」と記載

(次ページに続く)

工事計画本文（原規規発第 1606105 号（平成 28 年 6 月 10 日認可））（2 / 2）

（注5）既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

（注6）SI単位に換算したものである。

（注7）記載の適正化を行う。既工事計画書には「口径」と記載

（注8）記載の適正化を行う。既工事計画書には「3B×4B」と記載

（注9）公称値

（注10）記載の適正化を行う。既工事計画書には「本体材料」と記載

（注11）記載の適正化を行う。既工事計画書には「ステンレス鋼」と記載

（注12）記載の適正化を行う。既工事計画書には「駆動方式」と記載

（注13）記載の適正化を行う。既工事計画書には「取付箇所」と記載

（注14）記載の適正化を行う。既工事計画書には「余熱除去ポンプ入口ライン」と記載

か

工事計画本文（関原発第 123 号（平成 30 年 5 月 24 日）にて軽微変更届出）（1 / 2）

原子炉冷却系統施設

加圧水型発電用原子炉施設に係るもの（蒸気タービンに係るものを除く。）にあっては次の事項

6 余熱除去設備に係る次の事項

(5) 安全弁及び逃がし弁の名称、種類、吹出圧力、吹出量、主要寸法、材料、駆動方法、個数及び取付箇所

・常設

| | | 変更前 | | 変更後 | |
|--------|--------------------|----------------------------|---------------------------|------|---------------------------|
| 名称 | | 2V-8708A、B ^(注1) | | 変更なし | |
| 種類 | — | 平衡形 | | | |
| 吹出圧力 | MPa | 3.1 | | | |
| 吹出量 | kg/h/個 | 176,025 以上 | | | |
| 主要寸法 | 呼び径 | mm | 75 ^(注2) | | |
| | のど部の径 | mm | 73 ^(注3) | | |
| | 弁座口の径 | mm | | | |
| | リフト | mm | | | |
| 材料（弁箱） | — | SCS14A | | | |
| 駆動方法 | — | — | | | |
| 個数 | — | 2 | | | |
| 取付箇所 | 系統名 （ライン名） | — | 2V-8708A A余熱除去ポンプ入口ライン | | 2V-8708B B余熱除去ポンプ入口ライン |
| | 設置床 | — | | | |
| | 溢水防護上の 区画番号 | — | | | |
| | 溢水防護上の 配慮が必要な高さ | — | | | |

(次ページに続く)

工事計画本文（関原発第123号（平成30年5月24日）にて軽微変更届出）（2/2）

（注1）非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備と兼用

（注2）公称値についての注記が平成28年6月10日付け原規規発第1606105号にて認可された既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。公称値

（注3）公称値

関西電力株式会社
高浜発電所第2号機

構造、強度又は漏えいに係る
使用前検査成績書

施設名 : 原子炉冷却系統施設
計測制御系統施設
原子炉格納施設

系統名 : 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備
ほう酸注入機能を有する設備
圧力低減設備その他の安全設備（格納容器安全設備）
容器
燃料取替用水タンク

要領書番号 : 原規規収第 1610072 号 2-04

令和元年 11 月

原子力規制委員会

使用前検査成績書

- 1 発電所名 関西電力株式会社 高浜発電所第2号機
- 2 検査の種類 構造、強度又は漏えいに係る使用前検査
- 3 検査申請 使用前検査申請番号
関原発第321号(平成28年10月7日) 関原発第116号(令和元年6月24日)
関原発第435号(平成30年3月20日) 関原発第205号(2019年8月23日)
関原発第47号(平成30年4月20日)
関原発第203号(平成30年7月4日)
関原発第260号(平成30年8月20日)
関原発第416号(平成30年12月5日)
関原発第505号(平成31年2月1日)
関原発第513号(平成31年2月6日)
関原発第4号(平成31年4月4日)
関原発第69号(令和元年5月16日)
- 4 検査期日 自 平成30年10月2日
至 令和元年11月1日
- 5 検査場所 三菱重工業株式会社
パワードメイン 原子力事業部
兵庫県神戸市兵庫区和田崎町

関西電力株式会社 高浜発電所
福井県大飯郡高浜町田ノ浦
- 6 検査範囲 高浜発電所第2号機
発電用原子炉施設
原子炉冷却系統施設
非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備
計測制御系統施設
ほう酸注入機能を有する設備
原子炉格納施設
圧力低減設備その他の安全設備(格納容器安全設備)
容器
燃料取替用水タンク 1個

7 検査実施者 検査実施者一覧表のとおり

8 検査結果 検査結果一覧表のとおり

9 添付資料 使用前検査記録

1 検査前確認事項

2 材料検査記録

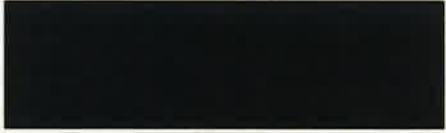


3 寸法検査記録

4 外観検査記録

5 組立て及び据付け状態を確認する検査記録

6 耐圧検査、漏えい検査記録

検査実施者一覧表

| 検査年月日 | 原子力施設検査官 印 | 検査立会責任者 印 | 特記事項 |
|-----------------------|---------------|--|------|
| 平成30年 10月2日 | 上田 洋 須貝 実 | ボイラーターゼン 主任技術者  | なし |
| 平成31年 4月18日 19日 | 平井 隆 須貝 実 | ボイラーターゼン 主任技術者  | なし |
| 令和元年 6月6日 | 川下 泰彦 須貝 実 | ボイラーターゼン 主任技術者  | なし |

3

検査実施者一覧表

| 検査年月日 | 原子力施設検査官 印 | 検査立会責任者 印 | 特記事項 |
|-------------------|--------------|------------------------------|------|
| 令和元 年 7 月 4 日 | 平井 隆 須貝 実 | ボイラーターゼン 主任技術者 [Redacted] | なし |
| 令和元 年 11 月 1 日 | 須貝 実 | ボイラーターゼン 主任技術者 [Redacted] | なし |
| 年 月 日 | | 主任技術者 | |

+

検査結果一覧表

系統名：非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備、ほう酸注入機能を有する設備、圧力低減設備その他の安全設備（格納容器安全設備）
 容器

燃料取替用水タンク

| 検査項目 | 材料検査 | 寸法検査 | 外観検査 | 組立て及び据付け状態を確認する検査 | 耐圧検査、漏えい検査 | 備考 |
|------|----------------|----------------|----------------|-------------------|----------------|---|
| 検査日 | 平成30年 10月2日 | 平成30年 10月2日 | 平成30年 10月2日 | 年 月 日 | 平成31年 4月19日 | |
| 結果 | 良 | 良 | 良 | / | 良 | |
| 検査日 | 平成31年 4月18日 | 平成31年 4月18日 | 平成31年 4月18日 | 年 月 日 | 年 月 日 | |
| 結果 | 良 | 良 | 良 | / | / | |
| 検査日 | 年 月 日 | 年 月 日 | 令和元年 6月6日 | 年 月 日 | 年 月 日 | 事業者が適合性 確認検査を改めて 実施したことが、検査 を追加で実施 |
| 結果 | / | / | 良 | / | / | |

5

検査結果一覧表

系統名：非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備、ほう酸注入機能を有する設備、圧力低減設備その他の安全設備（格納容器安全設備）
 容器

燃料取替用水タンク

| 検査項目 | 材料検査 | 寸法検査 | 外観検査 | 組立て及び据付け状態を確認する検査 | 耐圧検査、漏えい検査 | 備考 |
|------|----------|--------------|---------------|-------------------|--------------|--|
| 検査日 | 年 月 日 | 令和元年 7月4日 | 令和元年 7月4日 | 年 月 日 | 令和元年 7月4日 | 事業者が適合性 確認検査を改めて 実施したことから、 検査を追加で 実施 |
| 結果 | / | 良 | 良 | / | 良 | |
| 検査日 | 年 月 日 | 年 月 日 | 令和元年 11月1日 | 令和元年 11月1日 | 年 月 日 | |
| 結果 | / | / | 良 | 良 | / | |
| 検査日 | 年 月 日 | 年 月 日 | 年 月 日 | 年 月 日 | 年 月 日 | / |
| 結果 | / | / | / | / | / | |

高浜発電所第2号機 使用前検査記録

検査前確認事項

共通事項

使用前検査申請書の確認

| 確認事項 | 確認方法 | 検査年月日 | 結果 | 備考 |
|-------------------------------------|------|----------------|----|--|
| 本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。 | 記録確認 | 平成30年 10月2日 | 良 | 使用前検査成績書の「3 検査申請」に申請番号（変更申請番号を含む。）を記載する。 |
| | | 平成31年 4月18日 | 良 | |
| | | 令和元年 6月6日 | 良 | |
| 検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであることを確認する。 | 記録確認 | 平成30年 10月2日 | 良 | |
| | | 平成31年 4月18日 | 良 | |
| | | 令和元年 6月6日 | 良 | |

高浜発電所第2号機 使用前検査記録

検査前確認事項

共通事項

使用前検査申請書の確認

| 確認事項 | 確認方法 | 検査年月日 | 結果 | 備考 |
|-------------------------------------|------|---------------|----|--|
| 本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。 | 記録確認 | 令和元年 7月4日 | 良 | 使用前検査成績書の「3 検査申請」に申請番号（変更申請番号を含む。）を記載する。 |
| | | 令和元年 11月1日 | 良 | |
| | | 年 月 日 | | |
| 検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであることを確認する。 | 記録確認 | 令和元年 7月4日 | 良 | |
| | | 令和元年 11月1日 | 良 | |
| | | 年 月 日 | | |

高浜発電所第2号機 使用前検査記録

検査前確認事項

材料検査

| 確認事項 | 確認方法 | 検査年月日 | 結果 | 備考 |
|---------------------|-------|----------------|----|----|
| 申請者の品質記録が準備されていること。 | 記録確認 | 平成30年 10月2日 | 良 | |
| | | 平成31年 4月18日 | 良 | |
| | | 年 月 日 | | |
| 必要な図面等が準備されていること。 | 図面等確認 | 平成30年 10月2日 | 良 | |
| | | 平成31年 4月18日 | 良 | |
| | | 年 月 日 | | |

高浜発電所第2号機 使用前検査記録

検査前確認事項

寸法検査

| 確認事項 | 確認方法 | 検査年月日 | 結果 | 備考 |
|--|-------|----------------|----|----|
| 申請者の品質記録が準備されていること。 | 記録確認 | 平成30年 10月2日 | 良 | |
| | | 平成31年 4月18日 | 良 | |
| | | 年 月 日 | | |
| 必要な図面等が準備されていること。 | 図面等確認 | 平成30年 10月2日 | 良 | |
| | | 平成31年 4月18日 | 良 | |
| | | 年 月 日 | | |
| 検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。 | 記録確認 | 平成30年 10月2日 | 良 | |
| | | 平成31年 4月18日 | 良 | |
| | | 年 月 日 | | |

高浜発電所第2号機 使用前検査記録

検査前確認事項

寸法検査

| 確認事項 | 確認方法 | 検査年月日 | 結果 | 備考 |
|--|-------|--------------|----|----|
| 申請者の品質記録が準備されていること。 | 記録確認 | 令和元年 7月4日 | 良 | |
| | | 年 月 日 | | |
| | | 年 月 日 | | |
| 必要な図面等が準備されていること。 | 図面等確認 | 令和元年 7月4日 | 良 | |
| | | 年 月 日 | | |
| | | 年 月 日 | | |
| 検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。 | 記録確認 | 令和元年 7月4日 | 良 | |
| | | 年 月 日 | | |
| | | 年 月 日 | | |

高浜発電所第2号機・使用前検査記録

検査前確認事項

外観検査

| 確認事項 | 確認方法 | 検査年月日 | 結果 | 備考 |
|---------------------|-------|----------------|----|----|
| 申請者の品質記録が準備されていること。 | 記録確認 | 平成30年 10月2日 | 良 | |
| | | 平成31年 4月18日 | 良 | |
| | | 令和元年 6月6日 | 良 | |
| 必要な図面等が準備されていること。 | 図面等確認 | 平成30年 10月2日 | 良 | |
| | | 平成31年 4月18日 | 良 | |
| | | 令和元年 6月6日 | 良 | |

高浜発電所第2号機 使用前検査記録

検査前確認事項

外観検査

| 確認事項 | 確認方法 | 検査年月日 | 結果 | 備考 |
|---------------------|-------|--------------|----|----|
| 申請者の品質記録が準備されていること。 | 記録確認 | 令和元年 7月4日 | 良 | |
| | | 年 月 日 | | |
| | | 年 月 日 | | |
| 必要な図面等が準備されていること。 | 図面等確認 | 令和元年 7月4日 | 良 | |
| | | 年 月 日 | | |
| | | 年 月 日 | | |

高浜発電所第2号機 使用前検査記録

検査前確認事項

外観検査

| 確認事項 | 確認方法 | 検査年月日 | 結果 | 備考 |
|---------------------|-------|---------------|----|----|
| 申請者の品質記録が準備されていること。 | 記録確認 | 令和元年 11月1日 | 良 | |
| | | 年 月 日 | | |
| | | 年 月 日 | | |
| 必要な図面等が準備されていること。 | 図面等確認 | 令和元年 11月1日 | 良 | |
| | | 年 月 日 | | |
| | | 年 月 日 | | |

高浜発電所第2号機 使用前検査記録

検査前確認事項

組立て及び据付け状態を確認する検査

| 確認事項 | 確認方法 | 検査年月日 | 結果 | 備考 |
|---------------------|-------|---------------|----|----|
| 申請者の品質記録が準備されていること。 | 記録確認 | 令和元年 11月1日 | 良 | |
| | | 年 月 日 | | |
| | | 年 月 日 | | |
| 必要な図面等が準備されていること。 | 図面等確認 | 令和元年 11月1日 | 良 | |
| | | 年 月 日 | | |
| | | 年 月 日 | | |

高浜発電所第2号機 使用前検査記録

検査前確認事項

耐圧検査、漏えい検査

| 確認事項 | 確認方法 | 検査年月日 | 結果 | 備考 |
|--|-------------|----------------|----|----|
| 申請者の品質記録が準備されていること。 | 記録確認 | 平成31年 4月19日 | 良 | |
| | | 年 月 日 | | |
| | | 年 月 日 | | |
| 必要な図面等が準備されていること。 | 図面等確認 | 平成31年 4月19日 | 良 | |
| | | 年 月 日 | | |
| | | 年 月 日 | | |
| 検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。 | 記録確認 | 平成31年 4月19日 | 良 | |
| | | 年 月 日 | | |
| | | 年 月 日 | | |
| 系統構成が完了していること。 | 立会 記録確認 | 平成31年 4月19日 | 良 | |
| | 立会/ 記録確認 | 年 月 日 | | |
| | 立会/ 記録確認 | 年 月 日 | | |

高浜発電所第2号機 使用前検査記録

検査前確認事項

耐圧検査、漏えい検査

| 確認事項 | 確認方法 | 検査年月日 | 結果 | 備考 |
|--|-------------|--------------|----|----|
| 申請者の品質記録が準備されていること。 | 記録確認 | 令和元年 7月4日 | 良 | |
| | | 年 月 日 | | |
| | | 年 月 日 | | |
| 必要な図面等が準備されていること。 | 図面等確認 | 令和元年 7月4日 | 良 | |
| | | 年 月 日 | | |
| | | 年 月 日 | | |
| 検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。 | 記録確認 | 令和元年 7月4日 | 良 | |
| | | 年 月 日 | | |
| | | 年 月 日 | | |
| 系統構成が完了していること。 | 立会 記録確認 | 令和元年 7月4日 | 良 | |
| | 立会/ 記録確認 | 年 月 日 | | |
| | 立会/ 記録確認 | 年 月 日 | | |

高浜発電所第2号機

材料検査記録

検査場所：三菱重工業株式会社 パワードメイン 原子力事業部

検査範囲：原子炉冷却系統施設 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備
計測制御系統施設 ほう酸注入機能を有する設備
原子炉格納施設 圧力低減設備その他の安全設備（格納容器安全設備）
容器
燃料取替用水タンク：1個

判定基準：工事計画のとおりであり、技術基準に適合すること。

| 検査対象 | 使用材料 | 検査年月日 | 検査結果 | 検査方法 |
|----------|------------|----------------|------|------|
| 胴板* | [REDACTED] | 平成30年 10月2日 | 良 | 記録確認 |
| 屋根板 | | 平成31年 4月18日 | 良 | |
| 底板 | | 平成30年 10月2日 | 良 | |
| 側マンホールふた | | 平成31年 4月18日 | 良 | |

備考

・記録確認は、申請者の品質記録（※）による。

※：適合性確認検査成績書の識別番号：T2-1-1902

*：検査対象のうち、胴板厚 \pm [REDACTED]及び胴板厚 \pm [REDACTED]を除く範囲
について確認

高浜発電所第2号機

材料検査記録

検査場所：三菱重工業株式会社 パワードメイン 原子力事業部

検査範囲：原子炉冷却系統施設 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備
計測制御系統施設 ほう酸注入機能を有する設備
原子炉格納施設 圧力低減設備その他の安全設備（格納容器安全設備）
容器

燃料取替用水タンク：1個

判定基準：工事計画のとおりであり、技術基準に適合すること。

| 検査対象 | 使用材料 | 検査年月日 | 検査結果 | 検査方法 |
|----------|------------|----------------|------|------|
| 胴板* | [REDACTED] | 平成31年 4月18日 | 良 | 記録確認 |
| 屋根板 | | 年 月 日 | | |
| 底板 | | 年 月 日 | | |
| 側マンホールふた | | 年 月 日 | | |

備考

・記録確認は、申請者の品質記録（※）による。

※：適合性確認検査成績書の識別番号：T2-1-1902

*：検査対象のうち、胴板厚±[REDACTED]及び胴板厚±[REDACTED]について確認

高浜発電所第2号機

寸法検査記録

検査場所：三菱重工業株式会社 パワードメイン 原子力事業部

検査範囲：原子炉冷却系統施設 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備
計測制御系統施設 ほう酸注入機能を有する設備
原子炉格納施設 圧力低減設備その他の安全設備（格納容器安全設備）
容器

燃料取替用水タンク：1個

判定基準：各部の主要寸法の測定値が許容寸法を満足すること。

| 検査対象 | 主要寸法 ^{※1} (mm) | 許容寸法 ^{※2} (mm) | 測定値 (mm) | 検査年月日 | 検査結果 | 検査方法 |
|------|----------------------------|----------------------------|-------------|----------------|------|------|
| 胴内径 | | | | 平成31年 4月18日 | 良 | 記録確認 |
| 胴板厚さ | | | | 平成31年 4月18日 | 良 | 記録確認 |

備考

※1：公称値 ※2：許容値は工事計画による。

・記録確認は、申請者の品質記録（※3）による。

※3：適合性確認検査成績書の識別番号：T2-1-1902

高浜発電所第2号機

寸法検査記録

検査場所：三菱重工業株式会社 パワードメイン 原子力事業部

検査範囲：原子炉冷却系統施設 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備
計測制御系統施設 ほう酸注入機能を有する設備
原子炉格納施設 圧力低減設備その他の安全設備（格納容器安全設備）
容器

燃料取替用水タンク：1個

判定基準：各部の主要寸法の測定値が許容寸法を満足すること。

| 検査対象 | 主要寸法 ^{※1} (mm) | 許容寸法 ^{※2} (mm) | 測定値 (mm) | 検査年月日 | 検査結果 | 検査方法 |
|------|----------------------------|----------------------------|-------------|--------------|------|------------|
| 胴内径 | | | | 令和元年 7月4日 | 良 | ※4 記録確認 |
| 胴板厚さ | | | | 令和元年 7月4日 | 良 | ※4 記録確認 |

備考

※1：公称値 ※2：許容値は工事計画による。

・記録確認は、申請者の品質記録（※3）による。

※3：適合性確認検査成績書の識別番号：T2-1-1902(再検査)

※4：事業者が適合性確認検査を改めて実施したことから、検査を追加で実施

高浜発電所第2号機

寸法検査記録

検査場所：三菱重工業株式会社 パワードメイン 原子力事業部

検査範囲：原子炉冷却系統施設 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備
計測制御系統施設 ほう酸注入機能を有する設備
原子炉格納施設 圧力低減設備その他の安全設備（格納容器安全設備）
容器

燃料取替用水タンク：1個

判定基準：各部の主要寸法の測定値が許容寸法を満足すること。

| 検査対象 | 主要寸法 ^{※1} (mm) | 許容寸法 ^{※2} (mm) | 測定値 (mm) | 検査年月日 | 検査結果 | 検査方法 |
|------------------|----------------------------|----------------------------|-------------|----------------|------|------|
| 屋根板厚さ | | | | 平成31年 4月18日 | 良 | 記録確認 |
| 底板厚さ | | | | 平成30年 10月2日 | 良 | 記録確認 |
| 出口管台(余熱除去ポンプ)外径 | | | | 平成31年 4月18日 | 良 | 記録確認 |
| 出口管台(余熱除去ポンプ)厚さ | | | | 平成31年 4月18日 | 良 | 記録確認 |
| 出口管台(内部スプレポンプ)外径 | | | | 平成31年 4月18日 | 良 | 記録確認 |

備考

※1：公称値 ※2：許容値は工事計画による。

・記録確認は、申請者の品質記録（※3）による。

※3：適合性確認検査成績書の識別番号：T2-1-1902

高浜発電所第2号機

寸法検査記録

検査場所：三菱重工業株式会社 パワードメイン 原子力事業部

検査範囲：原子炉冷却系統施設 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備
計測制御系統施設 ほう酸注入機能を有する設備
原子炉格納施設 圧力低減設備その他の安全設備（格納容器安全設備）
容器

燃料取替用水タンク：1個

判定基準：各部の主要寸法の測定値が許容寸法を満足すること。

| 検査対象 | 主要寸法 ^{※1} (mm) | 許容寸法 ^{※2} (mm) | 測定値 (mm) | 検査年月日 | 検査結果 | 検査方法 |
|-----------------|----------------------------|----------------------------|-------------|--------------|------|------------|
| 屋根板厚さ | | | | 令和元年 7月4日 | 良 | ※4 記録確認 |
| 底板厚さ | | | | 年 月 日 | | 記録確認 |
| 出口管台(余熱除去ポンプ)外径 | | | | 年 月 日 | | 記録確認 |
| 出口管台(余熱除去ポンプ)厚さ | | | | 年 月 日 | | 記録確認 |
| 出口管台(内部スプレッド)外径 | | | | 年 月 日 | | 記録確認 |

備考

※1：公称値 ※2：許容値は工事計画による。

・記録確認は、申請者の品質記録（※3）による。

※3：適合性確認検査成績書の識別番号：T2-1-1902(再検査)

※4：事業者が適合性確認検査を改めて実施したことから、検査を追加で実施

高浜発電所第2号機

寸法検査記録

検査場所：三菱重工業株式会社 パワードメイン 原子力事業部

検査範囲：原子炉冷却系統施設 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備
計測制御系統施設 ほう酸注入機能を有する設備
原子炉格納施設 圧力低減設備その他の安全設備（格納容器安全設備）
容器

燃料取替用水タンク：1個

判定基準：各部の主要寸法の測定値が許容寸法を満足すること。

| 検査対象 | 主要寸法※ ¹ (mm) | 許容寸法※ ² (mm) | 測定値 (mm) | 検査年月日 | 検査結果 | 検査方法 |
|---------------------|----------------------------|----------------------------|-------------|----------------|------|------|
| 出口管台(内部スプレッド)厚さ | | | | 平成31年 4月18日 | 良 | 記録確認 |
| 給水入口管台 外径 | | | | 平成31年 4月18日 | 良 | 記録確認 |
| 給水入口管台 厚さ | | | | 平成31年 4月18日 | 良 | 記録確認 |
| 出口管台(充てん/高圧注入ポンプ)外径 | | | | 平成31年 4月18日 | 良 | 記録確認 |
| 出口管台(充てん/高圧注入ポンプ)厚さ | | | | 平成31年 4月18日 | 良 | 記録確認 |

備考

※1：公称値 ※2：許容値は工事計画による。

・記録確認は、申請者の品質記録(※3)による。

※3：適合性確認検査成績書の識別番号：T2-1-1902

高浜発電所第2号機

寸法検査記録

検査場所：三菱重工業株式会社 パワードメイン 原子力事業部

検査範囲：原子炉冷却系統施設 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備
計測制御系統施設 ほう酸注入機能を有する設備
原子炉格納施設 圧力低減設備その他の安全設備（格納容器安全設備）
容器

燃料取替用水タンク：1個

判定基準：各部の主要寸法の測定値が許容寸法を満足すること。

| 検査対象 | 主要寸法※ ¹ (mm) | 許容寸法※ ² (mm) | 測定値 (mm) | 検査年月日 | 検査結果 | 検査方法 |
|----------------|----------------------------|----------------------------|-------------|----------------|------|------|
| 側マンホール管台 外径 | | | | 平成31年 4月18日 | 良 | 記録確認 |
| 側マンホール管台 厚さ | | | | 平成31年 4月18日 | 良 | 記録確認 |
| 側マンホールふた 厚さ | | | | 平成31年 4月18日 | 良 | 記録確認 |
| 高さ | | | | 平成31年 4月18日 | 良 | 記録確認 |

備考

※1：公称値 ※2：許容値は工事計画による。 ※3：最小値

・記録確認は、申請者の品質記録（※4）による。

※4：適合性確認検査成績書の識別番号：T2-1-1902

高浜発電所第2号機

寸法検査記録

検査場所：三菱重工業株式会社 パワードメイン 原子力事業部

検査範囲：原子炉冷却系統施設 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備
計測制御系統施設 ほう酸注入機能を有する設備
原子炉格納施設 圧力低減設備その他の安全設備（格納容器安全設備）
容器
燃料取替用水タンク：1個

判定基準：各部の主要寸法の測定値が許容寸法を満足すること。

| 検査対象 | 主要寸法 ^{※1} (mm) | 許容寸法 ^{※2} (mm) | 測定値 (mm) | 検査年月日 | 検査結果 | 検査方法 |
|----------------|----------------------------|----------------------------|-------------|-------------|------|------------|
| 側マンホール管台 外径 | | | | 年 | | 記録確認 |
| 月 | | | | 日 | | |
| 側マンホール管台 厚さ | | | | 年 | | |
| 月 | | | | 日 | | |
| 側マンホールふた 厚さ | 年 | | 記録確認 | | | |
| 月 | 日 | | | | | |
| 高さ | | | | 令和元 7月4日 | 良 | ※5 記録確認 |

備考

※1：公称値 ※2：許容値は工事計画による。 ※3：最小値

・記録確認は、申請者の品質記録（※4）による。

※4：適合性確認検査成績書の識別番号：T2-1-1902(再検査)

※5：事業者が適合性確認検査を改めて実施したことから、検査を追加で実施

高浜発電所第2号機

外観検査記録

検査場所：~~関西電力株式会社 高浜発電所~~

三菱重工業株式会社 パワードメイン 原子力事業部

検査範囲：原子炉冷却系統施設 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備

計測制御系統施設 ほう酸注入機能を有する設備

原子炉格納施設 圧力低減設備その他の安全設備（格納容器安全設備）

容器

燃料取替用水タンク：1個

判定基準：有害な欠陥（表面に機能・性能に影響を及ぼすおそれのある傷、割れ、変形、腐食、浸食）がないこと。

| 検査対象 | 検査年月日 | 検査結果 | 検査方法 |
|-----------|----------------|------|------------|
| 燃料取替用水タンク | 平成30年 10月2日 | 良 | 目視 記録確認 |

備考

・塗装施工前の状態で確認。

~~・記録確認は、申請者の品質記録（※1）による。~~~~※1 適合性確認検査成績書の識別番号~~

※：検査対象のうち、底板（外側）について確認

高浜発電所第2号機

外観検査記録

検査場所：~~関西電力株式会社 高浜発電所~~

三菱重工業株式会社 パワードメイン 原子力事業部

検査範囲：原子炉冷却系統施設 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備
計測制御系統施設 ほう酸注入機能を有する設備
原子炉格納施設 圧力低減設備その他の安全設備（格納容器安全設備）
容器

燃料取替用水タンク：1個

判定基準：有害な欠陥（表面に機能・性能に影響を及ぼすおそれのある傷、割れ、変形、腐食、浸食）がないこと。

| 検査対象 | 検査年月日 | 検査結果 | 検査方法 |
|-----------|----------------|------|-------------------|
| 燃料取替用水タンク | 平成31年 4月18日 | 良 | 目視 / ※ 記録確認 |

備考

- ・塗装施工前の状態で確認。
- ・記録確認は、申請者の品質記録（※1）による。

※1：適合性確認検査成績書の識別番号：T2-1-1902

※検査対象のうち、底板(外側)を除く範囲について確認

高浜発電所第2号機

外観検査記録

検査場所：~~関西電力株式会社 高浜発電所~~

三菱重工業株式会社 パワードメイン 原子力事業部

検査範囲：原子炉冷却系統施設 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備

計測制御系統施設 ほう酸注入機能を有する設備

原子炉格納施設 圧力低減設備その他の安全設備（格納容器安全設備）

容器

燃料取替用水タンク：1個

判定基準：有害な欠陥（表面に機能・性能に影響を及ぼすおそれのある傷、割れ、変形、腐食、浸食）がないこと。

| 検査対象 | 検査年月日 | 検査結果 | 検査方法 |
|-----------|--------------|------|---------------------|
| 燃料取替用水タンク | 令和元年 6月6日 | 良 | ※1 ※2 目視 記録確認 |

備考

・塗装施工前の状態で確認。

~~記録確認は、申請者の品質記録（※1）による。~~~~※1 適合性確認検査成績書の識別番号~~

※1: 検査対象のうち、胴板厚E [] について確認。

※2: 事業者が適合性確認検査を改めて実施したことから、検査を追加で実施

高浜発電所第2号機

外観検査記録

検査場所：~~関西電力株式会社 高浜発電所~~

三菱重工業株式会社 パワードメイン 原子力事業部

検査範囲：原子炉冷却系統施設 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備
計測制御系統施設 ほう酸注入機能を有する設備
原子炉格納施設 圧力低減設備その他の安全設備（格納容器安全設備）
容器

燃料取替用水タンク：1個

判定基準：有害な欠陥（表面に機能・性能に影響を及ぼすおそれのある傷、割れ、変形、腐食、浸食）がないこと。

| 検査対象 | 検査年月日 | 検査結果 | 検査方法 |
|-----------|--------------|------|--------------------|
| 燃料取替用水タンク | 令和元年 7月4日 | 良 | 目視 ※2※3 記録確認 |

備考

- ・塗装施工前の状態で確認。
- ・記録確認は、申請者の品質記録（※1）による。

※1：適合性確認検査成績書の識別番号：T2-1-1902(再検査)

※2：検査対象のうち屋根板について確認

※3：事業者が適合性確認検査を改めて実施したことが、検査を追加で実施

高浜発電所第2号機

外観検査記録

検査場所：関西電力株式会社 高浜発電所

検査範囲：原子炉冷却系統施設 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備
計測制御系統施設 ほう酸注入機能を有する設備
原子炉格納施設 圧力低減設備その他の安全設備（格納容器安全設備）
容器
燃料取替用水タンク：1個

判定基準：有害な欠陥（表面に機能・性能に影響を及ぼすおそれのある傷、割れ、変形、腐食、浸食）がないこと。

| 検査対象 | 検査年月日 | 検査結果 | 検査方法 |
|-----------|---------------|------|-----------------|
| 燃料取替用水タンク | 令和元年 11月1日 | 良 | 目視 ／ 記録確認 |

備考

・組立て及び据付け状態で確認。

~~記録確認は、申請者の品質記録（※1）による。~~

~~※1：適合性確認検査成績書の識別番号~~

高浜発電所第2号機

組立て及び据付け状態を確認する検査記録

検査場所：関西電力株式会社 高浜発電所

検査範囲：原子炉冷却系統施設 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備
計測制御系統施設 ほう酸注入機能を有する設備
原子炉格納施設 圧力低減設備その他の安全設備（格納容器安全設備）
容器
燃料取替用水タンク：1個

判定基準：工事計画のとおりであり、技術基準に適合すること。

| 検査対象 | 検査年月日 | 検査結果 | 検査方法 |
|-----------|---------------|------|------------|
| 燃料取替用水タンク | 令和元年 11月1日 | 良 | 目視 記録確認 |

備考

~~記録確認は、申請者の品質記録（※）による。~~~~※：適合性確認検査成績書の識別番号~~

高浜発電所第2号機

耐圧検査、漏えい検査記録

検査場所：三菱重工業株式会社 パワードメイン 原子力事業部

検査範囲：原子炉冷却系統施設 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備
計測制御系統施設 ほう酸注入機能を有する設備
原子炉格納施設 圧力低減設備その他の安全設備（格納容器安全設備）
容器
燃料取替用水タンク：1個

判定基準：・検査圧力に耐え、かつ、異常がないこと。
・著しい漏えいがないこと。

| 検査対象 | 最高使用 圧力※1 (MPa) | 耐圧検査 規定圧力 (MPa) | 耐圧検査時 圧力 (MPa) | 保持 時間 (分) | 漏えい 検査時圧力 (MPa) | 水圧、気圧 区分 | 検査年月日 | 検査結果 | 検査方法 |
|-----------|-----------------------|-----------------------|----------------------|-----------------|-----------------------|-------------|----------------|------|------------|
| 燃料取替用水タンク | 大気圧 | 静水頭圧 | 静水頭圧 | 11 | 静水頭圧 | 水圧 | 平成31年 4月19日 | 良 | 目視 記録確認 |

備考

※1：重大事故等時における使用時の値。

~~記録確認は、申請者の品質記録（※2）による。~~

~~※2：適合性確認検査成績書の識別番号。~~

・底板の溶接部について、局部漏えい検査及び非破壊試験（放射線透過試験又は浸透探傷試験）を申請者が実施した結果、異常のないことを申請者の記録により確認。 確認 及び

高浜発電所第2号機

耐圧検査、漏えい検査記録

検査場所：三菱重工業株式会社 パワードメイン 原子力事業部

検査範囲：原子炉冷却系統施設 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備
計測制御系統施設 ほう酸注入機能を有する設備
原子炉格納施設 圧力低減設備その他の安全設備（格納容器安全設備）
容器
燃料取替用水タンク：1個

判定基準：・検査圧力に耐え、かつ、異常がないこと。
・著しい漏えいがないこと。

| 検査対象 | 最高使用圧力 ^{※1} (MPa) | 耐圧検査規定圧力 (MPa) | 耐圧検査時圧力 (MPa) | 保持時間 (分) | 漏えい検査時圧力 (MPa) | 水圧、気圧 区分 | 検査年月日 | 検査結果 | 検査方法 |
|-----------|-------------------------------|-------------------|------------------|-------------|-------------------|-------------|--------------|------|------------------|
| 燃料取替用水タンク | 大気圧 | 静水頭圧 | 静水頭圧 | 11 | 静水頭圧 | 水圧 | 令和元年 7月4日 | 良 | ※2 目視 記録確認 |

備考

※1：重大事故等時における使用時の値。

~~記録確認は、申請者の品質記録（※2）による。~~

~~※2：適合性確認検査成績書の識別番号。~~

※2：事業者が適合性確認検査を改めて実施したことから、検査を追加で実施

~~底板の溶接部について、局部漏えい検査及び非破壊試験（放射線透過試験又は浸透探傷試験）を申請者が実施した結果、異常のないことを申請者の記録により確認。 □確認~~

34/E

関西電力株式会社
高浜発電所第2号機

構造、強度又は漏えいに係る
使用前検査成績書

施設名：原子炉冷却系統施設

系統名：非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備
貯蔵槽

格納容器サンプルB-A

格納容器サンプルB-B

要領書番号：原規規収第1610072号2-05-1

令和元年 8 月

原子力規制委員会

使用前検査成績書

- 1 発電所名 関西電力株式会社 高浜発電所第2号機
- 2 検査の種類 構造、強度又は漏えいに係る使用前検査
- 3 検査申請 使用前検査申請番号
関原発第321号(平成28年10月7日)
関原発第435号(平成30年3月20日)
関原発第47号(平成30年4月20日)
関原発第203号(平成30年7月4日)
関原発第260号(平成30年8月20日)
関原発第416号(平成30年12月5日)
関原発第505号(平成31年2月1日)
関原発第513号(平成31年2月6日)
関原発第4号(平成31年4月4日)
関原発第69号(令和元年5月16日)
関原発第116号(令和元年6月24日)
関原発第205号(令和元年8月23日)
- 4 検査期日 自 令和元年7月17日
至 令和元年8月27日
- 5 検査場所 関西電力株式会社 高浜発電所
福井県大飯郡高浜町田ノ浦
- 6 検査範囲 高浜発電所第2号機
発電用原子炉施設
原子炉冷却系統施設
非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備
貯蔵槽
格納容器サンプルB-A 1個
格納容器サンプルB-B 1個

- 7 検査実施者 検査実施者一覧表のとおり
- 8 検査結果 検査結果一覧表のとおり
- 9 添付資料 使用前検査記録
- 1 検査前確認事項
 - 2 材料検査記録
 - 3 寸法検査記録
 - 4 外観検査記録
 - 5 組立て及び据付け状態を確認する検査記録
 - 6 検査用計器一覧表

検査実施者一覧表

| 検査年月日 | 原子力施設検査官 印 | 検査立会責任者 印 | 特記事項 |
|---------------|-------------------|----------------------------|------|
| 令和元年 7月17日 | 平井 隆 河田 拓也 | 発電用原子炉 主任技術者 [Redacted] | なし |
| 令和元年 8月27日 | 平井 隆 環境技官 増本 豊 | 発電用原子炉 主任技術者 [Redacted] | なし |
| 年 月 日 | | 主任技術者 | |

3

検査結果一覧表

系統名：非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備
貯蔵槽

格納容器サンプルB-A

格納容器サンプルB-B

| 検査項目 | 材料検査 | 寸法検査 | 外観検査 | 組立て及び据付け 状態を確認する検査 | 備考 |
|------|-------------------|-------------------|-------------------|-----------------------|----|
| 検査日 | 令和元 年 7 月 17 日 | 令和元 年 7 月 17 日 | 令和元 年 7 月 17 日 | 年 月 日 | |
| 結果 | 良 | 良 | 良 | | |
| 検査日 | 令和元 年 8 月 27 日 | 年 月 日 | 年 月 日 | 令和元 年 8 月 27 日 | |
| 結果 | 良 | | | 良 | |
| 検査日 | 年 月 日 | 年 月 日 | 年 月 日 | 年 月 日 | |
| 結果 | | | | | |

高浜発電所第2号機 使用前検査記録

検査前確認事項

共通事項

使用前検査申請書の確認

| 確認事項 | 確認方法 | 検査年月日 | 結果 | 備考 |
|-------------------------------------|------|---------------|----|---|
| 本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。 | 記録確認 | 令和元年 7月17日 | 良 | 使用前検査成績書の「3. 検査申請」に申請番号（変更申請番号を含む。）を記載する。 |
| | | 令和元年 8月27日 | 良 | |
| | | 年 月 日 | | |
| 検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。 | 記録確認 | 令和元年 7月17日 | 良 | |
| | | 令和元年 8月27日 | 良 | |
| | | 年 月 日 | | |
| 工事計画の認可番号の記載が適切であること。 | 記録確認 | 令和元年 7月17日 | 良 | |
| | | 令和元年 8月27日 | 良 | |
| | | 年 月 日 | | |

高浜発電所第2号機 使用前検査記録

検査前確認事項

材料検査

| 確認事項 | 確認方法 | 検査年月日 | 結果 | 備考 |
|---------------------|-------|---------------|----|----|
| 申請者の品質記録が準備されていること。 | 記録確認 | 令和元年 7月17日 | 良 | |
| | | 令和元年 8月27日 | 良 | |
| | | 年 月 日 | | |
| 必要な図面等が準備されていること。 | 図面等確認 | 令和元年 7月17日 | 良 | |
| | | 令和元年 8月27日 | 良 | |
| | | 年 月 日 | | |

高浜発電所第2号機 使用前検査記録

検査前確認事項

寸法検査

| 確認事項 | 確認方法 | 検査年月日 | 結果 | 備考 |
|--|-------|-------------------|----|----|
| 申請者の品質記録が準備されていること。 | 記録確認 | 令和元 年 7 月 17 日 | 良 | |
| | | 年 月 日 | | |
| | | 年 月 日 | | |
| 必要な図面等が準備されていること。 | 図面等確認 | 令和元 年 7 月 17 日 | 良 | |
| | | 年 月 日 | | |
| | | 年 月 日 | | |
| 検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。 | 記録確認 | 令和元 年 7 月 17 日 | 良 | |
| | | 年 月 日 | | |
| | | 年 月 日 | | |

高浜発電所第2号機 使用前検査記録

検査前確認事項

外観検査

| 確認事項 | 確認方法 | 検査年月日 | 結果 | 備考 |
|---------------------|-------|-------------------|----|----|
| 申請者の品質記録が準備されていること。 | 記録確認 | 令和元 年 7 月 17 日 | 良 | |
| | | 年 月 日 | | |
| | | 年 月 日 | | |
| 必要な図面等が準備されていること。 | 図面等確認 | 令和元 年 7 月 17 日 | 良 | |
| | | 年 月 日 | | |
| | | 年 月 日 | | |

高浜発電所第2号機 使用前検査記録

検査前確認事項

組立て及び据付け状態を確認する検査

| 確認事項 | 確認方法 | 検査年月日 | 結果 | 備考 |
|---------------------|-------|---------------|----|----|
| 申請者の品質記録が準備されていること。 | 記録確認 | 令和元年 8月27日 | 良 | |
| | | 年 月 日 | | |
| | | 年 月 日 | | |
| 必要な図面等が準備されていること。 | 図面等確認 | 令和元年 8月27日 | 良 | |
| | | 年 月 日 | | |
| | | 年 月 日 | | |

高浜発電所第2号機

材料検査記録

検査場所：関西電力株式会社 高浜発電所

検査範囲：原子炉冷却系統施設
 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備
 貯蔵槽
 格納容器サンプルB-A：1個
 格納容器サンプルB-B：1個

判定基準：工事計画のとおりであり、技術基準に適合すること。

| 検査対象 | 材 料 | 検査年月日 | 検査結果 | 検査方法 |
|-----------------|------------|-------------------|------|-----------|
| 格納容器 サンプルB-A | [REDACTED] | 令和元 年 7月17日 | 良 | * 記録確認 |
| 格納容器 サンプルB-B | | | | |

備考

・記録確認は、申請者の品質記録（※）による。

※：適合性確認検査成績書の識別番号：T2-1-1305

*：構造体コンクリートの圧縮強度を除く。

高浜発電所第 2 号機

材料検査記録

検査場所：関西電力株式会社 高浜発電所

検査範囲：原子炉冷却系統施設
 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備
 貯蔵槽
 格納容器サンプル B-A : 1 個
 格納容器サンプル B-B : 1 個

判定基準：工事計画のとおりであり、技術基準に適合すること。

| 検査対象 | 材 料 | 検査年月日 | 検査結果 | 検査方法 |
|------------------|-----|-------------------|------|-----------|
| 格納容器 サンプル B-A | | 令和元 年 8 月 27 日 | 良 | * 記録確認 |
| 格納容器 サンプル B-B | | | | |

備考

・記録確認は、申請者の品質記録（※）による。

※：適合性確認検査成績書の識別番号：T2-1-1305

* 構造体コンクリートの圧縮強度を確認。

高浜発電所第2号機

寸法検査記録

検査場所：関西電力株式会社 高浜発電所

検査範囲：原子炉冷却系統施設
 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備
 貯蔵槽
 格納容器サンプルB-A：1個
 格納容器サンプルB-B：1個

判定基準：各部の主要寸法の測定値が許容寸法を満足すること。

| 検査対象 | | 主要寸法 ^{※1} (mm) | 許容値 ^{※2} (mm) | 測定値 (mm) | 検査年月日 | 検査結果 | 検査方法 |
|-----------------|-----------|----------------------------|---------------------------|-------------|---------------|------|------------|
| 格納容器 サンプルB-A | たて | | | | 令和元年 7月17日 | 良 | 目視 記録確認 |
| 格納容器 サンプルB-B | | | | | 令和元年 7月17日 | 良 | 目視 記録確認 |
| 格納容器 サンプルB-A | 仕切壁 高さ | | | | 令和元年 7月17日 | 良 | 目視 記録確認 |
| 格納容器 サンプルB-B | | | | | 令和元年 7月17日 | 良 | 目視 記録確認 |
| 格納容器 サンプルB-A | 仕切壁 厚さ | | | | 令和元年 7月17日 | 良 | 目視 記録確認 |
| 格納容器 サンプルB-B | | | | | 令和元年 7月17日 | 良 | 目視 記録確認 |

備考

※1：公称値 ※2：許容値は工事計画による。

~~記録確認は、申請者の品質記録（※3）による。~~~~※3：適合性確認検査成績書の識別番号。~~

高浜発電所第2号機

外観検査記録

検査場所：関西電力株式会社 高浜発電所

検査範囲：原子炉冷却系統施設
 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備
 貯蔵槽
 格納容器サンプルB-A：1個
 格納容器サンプルB-B：1個

判定基準：有害な欠陥（表面に機能・性能に影響を及ぼすおそれのある傷、割れ、変形、腐食、浸食）がないこと。

| 検査対象 | 検査年月日 | 検査結果 | 検査方法 |
|-------------|------------------|------|------|
| 格納容器サンプルB-A | 令和元 年 7 月17 日 | 良 | 目視 |
| 格納容器サンプルB-B | 令和元 年 7 月17 日 | 良 | 目視 |

備考

- ・塗装施工前の状態で確認

高浜発電所第2号機

組立て及び据付け状態を確認する検査記録

検査場所：関西電力株式会社 高浜発電所

検査範囲：原子炉冷却系統施設
 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備
 貯蔵槽
 格納容器サンプルB-A：1個
 格納容器サンプルB-B：1個

判定基準：工事計画のとおりであり、技術基準に適合すること。

| 検査対象 | 検査年月日 | 検査結果 | 検査方法 |
|-------------|---------------|------|------|
| 格納容器サンプルB-A | 令和元年 8月27日 | 良 | 目視 |
| 格納容器サンプルB-B | 令和元年 8月27日 | 良 | 目視 |

備考

- 目視可能な範囲での塗装後の外観（有害な欠陥（表面に機能・性能に影響を及ぼすおそれのある傷、割れ、変形、腐食、浸食）がないこと。）も含めて確認。

高浜発電所第2号機 使用前検査記録
検査用計器一覧表

検査年月日：令和元年 7月17日

| 検査項目 | 検査用計器 | 管理番号 | 測定範囲 | 測定精度 | 校正年月日 有効期限 | 備考 |
|------|--------|------|------|------|------------------------|----|
| 寸法検査 | コンベックス | | | | 2018/11/6 2020/11/5 | |

関西電力株式会社
高浜発電所第2号機
使用前検査成績書

要領書番号：原規規収第1610072号99

成績書管理番号：2-05-2

令和3年3月

原子力規制委員会

使用前検査成績書

成績書管理番号：2-05-2

- 1 発電所名 関西電力株式会社高浜発電所第2号機
- 2 検査申請 検査申請一覧表のとおり
- 3 検査期日 自 令和3年3月23日
至 令和3年3月23日
- 4 検査場所 使用前検査記録のとおり
- 5 検査実施者 検査結果一覧表のとおり
- 6 検査結果 検査結果一覧表のとおり
- 7 添付資料 使用前検査記録


検査申請一覧表

| | |
|--------------------|--|
| 検査申請書番号 (申請年月日) | 関原発第321号(平成28年10月7日) 関原発第435号(平成30年3月20日) 関原発第47号(平成30年4月20日) 関原発第203号(平成30年7月4日) 関原発第260号(平成30年8月20日) 関原発第416号(平成30年12月5日) 関原発第505号(平成31年2月1日) 関原発第513号(平成31年2月6日) 関原発第4号(平成31年4月4日) 関原発第69号(2019年5月16日) 関原発第116号(2019年6月24日) 関原発第205号(2019年8月23日) 関原発第511号(2020年1月31日) 関原発第543号(2020年2月26日) 関原発第618号(2020年3月24日) 関原発第23号(2020年4月7日) |
|--------------------|--|

上記以降の変更を検査申請書の変更申請により確認し表中に追記する。

検査結果一覧表

成績書管理番号：2-05-2

| 検査年月日 | 検査結果 | 原子力検査官 | 検査立会責任者 | 特記事項 |
|--------------------|------|--------|--|------|
| 令和 3 年 3 月 23 日 | 良 | 須貝 実 | ボイラー-ターゼン 主任技術者  | なし |

ω

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録 共通事項

成績書管理番号：2-05-2

検査年月日：令和3年 3月 23日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

| 確認事項 | 確認方法 | 確認結果 | 備考 |
|-------------------------------------|------|------|----|
| 本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。 | 記録確認 | ◎良・— | |
| 検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。 | 記録確認 | ◎良・— | |
| 工事計画の認可番号の記載が適切であること。 | 記録確認 | ◎良・— | |

関西電力株式会社高浜発電所第2号機 使用前検査記録 (一号検査)

成績書管理番号：2-05-2

検査年月日：令和3年 3 月 23 日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査前確認事項

| 確認事項 | 確認方法 | 結果 | 備考 |
|--|-------------|------|----|
| 申請者の品質記録が準備されていること。 | 記録確認 | ◎良・— | |
| 必要な図面等が準備されていること。 | 図面等確認 | ◎良・— | |
| 検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。 | 記録確認 | 良・⊖ | |
| 系統構成が完了していること。 | 立会/ 記録確認 | 良・⊖ | |

工事計画本文（原規規発第1606105号、平成28年6月10日認可）

原子炉冷却系統施設

加圧水型発電用原子炉施設に係るもの（蒸気タービンに係るものを除く。）にあつては、次の事項

7 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備に係る次の事項

(4) ろ過装置の名称、種類、容量、最高使用圧力、最高使用温度、主要寸法、材料、個数及び取付箇所

・常設

(1/2)

| | | | 変 更 前 | 変 更 後 |
|-----------------------------|-------------------|-----|-----------------|-----------------------------|
| 名 称 | | | 格納容器再循環サンプスクリーン | 変更なし |
| 種 類 | — | | ディスク型 | |
| 容 量 ^(注1) | m ³ /h | | | |
| 最 高 使 用 圧 力 ^(注7) | MPa | | | |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | | 122 | 変更なし 138 ^(注8) |
| 主要寸法 | ディスク | た て | mm | |
| | | 横 | mm | |
| | | 高 さ | mm | |
| | ギャップ | 枚 数 | — | |
| | | 外 径 | mm | |
| | | 高 さ | mm | |
| | 枚 数 | — | | |
| コアチューブ外径 | | mm | | |
| 材料 | デ ィ ス ク | | — | |
| | ギ ャ ッ プ | | — | |
| | コ ア チ ュ ー ブ | | — | |

: 検査対象範囲

| | | 変更前 | 変更後 | |
|------|--------------------------------|-----|-----------------------------------|------------------------------------|
| 個 | 数 (注11) | — | 2 (注13) | |
| 取付箇所 | 系 統 名 (ラ イ ン 名) | — | 格納容器再循環サンプスクリーン 格納容器サンプB (注14) | 格納容器再循環 サンプスクリーンA 格納容器サンプB-A |
| | 設 置 床 | — | [Redacted] | 変更なし |
| | 溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号 | — | | |
| | 溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ | — | | |

(注1) 1系列あたりの流量を示す。

(注2) 有効吸込水頭がポンプの必要有効吸込水頭（余熱除去ポンプは[Redacted]、内部スプレポンプは[Redacted]）以上

(注3) 有効吸込水頭的设计値は、余熱除去ポンプでは[Redacted]、内部スプレポンプでは[Redacted]

(注4) 公称値

(注5) 有効吸込水頭がポンプの必要有効吸込水頭（余熱除去ポンプは[Redacted]、内部スプレポンプは[Redacted]）以上

(注6) 有効吸込水頭的设计値は、余熱除去ポンプでは[Redacted]、内部スプレポンプでは[Redacted]

(注7) 格納容器再循環サンプスクリーンは、その機能及び構造上耐圧機能を必要としないため、最高使用圧力は適用されないが、ここでは、原子炉格納容器の最高使用圧力を（ ）内に示す。

(注8) 重大事故等時における使用時の値

(注9) 記載値は公称値であり、部品単位の寸法を示す。

(注10) 1モジュール当たりの数量を示す。

(注11) 系列数を示す。

(注12) 1系列は[Redacted]モジュールである。

(注13) 1系列は[Redacted]モジュールである。

(注14) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。

: 検査対象範囲

(注15) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。